

新たな相馬市長期総合計画策定に向けた 職員アンケート結果報告書

令和8年8月

相馬市企画政策課

【新マスタープラン】策定に向けた職員アンケート 結果報告

◆実施概要

- ・実施期間

令和8年3月12日～4月7日

- ・対象者

部長・参事・課長相当職を除く全職員（269名）

※部長等は、相馬市新長期総合計画策定委員会及び幹事会の構成員となることから対象外

- ・回答方法

Logo フォームによるオンライン回答

- ・回答率

38%（回答数：101件 ／ 対象者：269件）

- ・回答者属性

勤続年数

1～3年目	5
4～9年目	13
10～19年目	23
20年目以上	44
無回答	16

居住地

1. 市内	79
2. 市外	9
無回答	13

◆設問 1 の回答結果まとめ

■設問 1. 【必須】

参考資料 1 に関して伺います。

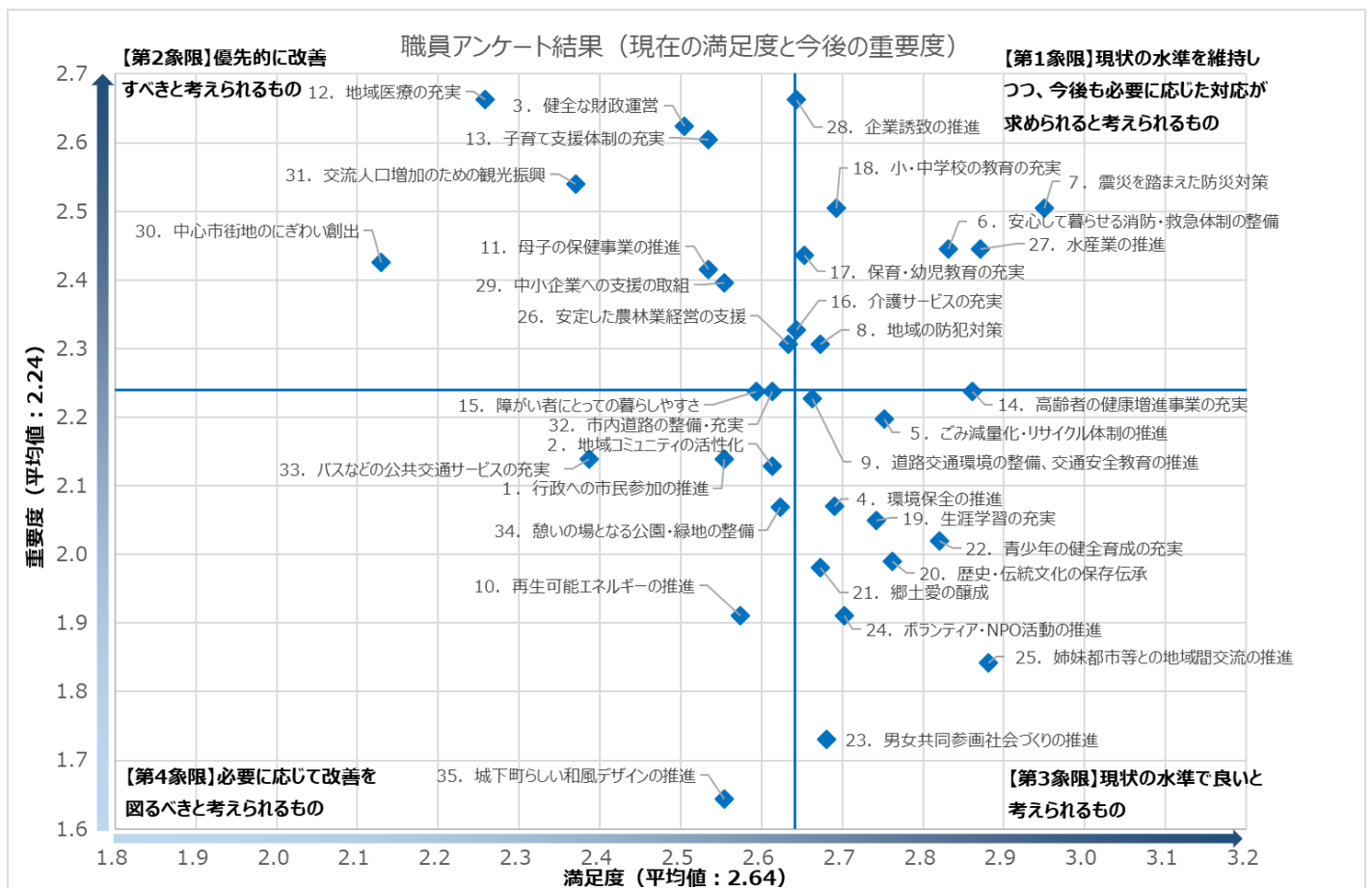
これまでの相馬市の取組に対しての「①現在の満足度」と、「②今後の重要度」を、以下の選択肢から選択してください。

(補足：設問の目的)

今後、設問 1～2 と同じ内容で市民アンケートを実施し、職員の意見と市民の意見を総合し、マスタープラン 2017 の取組に対する成果と今後の課題を分析します。

項目	①現在の満足度				②今後の重要度		
	満足	やや満足	やや不満	不満	重要	やや重要	重要でない
市民協働・コミュニティ・自治体経営							
1. 行政への市民参加の推進	1	2	3	4	1	2	3
2. 地域コミュニティの活性化	1	2	3	4	1	2	3
3. 健全な財政運営	1	2	3	4	1	2	3

- ・これまでの相馬市の取組に対しての「現在の満足度（４段階）」「今後の重要度（３段階）」を問う設問。
- ・項目はマスタープラン 2017 策定時に使用した 35 項目。
- ・満足度については、（満足：4、やや満足：3、やや不満：2、不満：1）として加重平均を取った。
- ・重要度については、（重要：3、やや重要：2、重要でない：1）として加重平均を取った。
- ・満足度を横軸、重要度を縦軸とした散布図とすると、下図のようになった。



回答結果まとめ 設問 1

・満足度の平均値（2.64）、重要度の平均値（2.24）を基準に、各項目の結果を分類すると下表のとおりとなった。

分類	項目	満足度 平均値 2.64	重要度 平均値 2.24
【第 1 象限】 満足度○:重要度○ 現状の水準を維持しつつ、今後必要に応じた対応が求められると考えられるもの	28. 企業誘致の推進	2.64	2.66
	18. 小・中学校の教育の充実	2.69	2.50
	7. 震災を踏まえた防災対策	2.95	2.50
	6. 安心して暮らせる消防・救急体制の整備	2.83	2.45
	27. 水産業の推進	2.87	2.45
	17. 保育・幼児教育の充実	2.65	2.44
	16. 介護サービスの充実	2.64	2.33
	8. 地域の防犯対策	2.67	2.31
【第 2 象限】 満足度×:重要度○ 優先的に改善すべきと考えられるもの	12. 地域医療の充実	2.26	2.66
	3. 健全な財政運営	2.50	2.62
	13. 子育て支援体制の充実	2.53	2.60
	31. 交流人口増加のための観光振興	2.37	2.54
	30. 中心市街地のにぎわい創出	2.13	2.43
	11. 母子の保健事業の推進	2.53	2.42
	29. 中小企業への支援の取組	2.55	2.40
	26. 安定した農林業経営の支援	2.63	2.31
【第 3 象限】 満足度○:重要度× 現状の水準で良いと考えられるもの	14. 高齢者の健康増進事業の充実	2.86	2.24
	9. 道路交通環境の整備、交通安全教育の推進	2.66	2.23
	5. ごみ減量化・リサイクル体制の推進	2.75	2.20
	4. 環境保全の推進	2.69	2.07
	19. 生涯学習の充実	2.74	2.05
	22. 青少年の健全育成の充実	2.82	2.02
	20. 歴史・伝統文化の保存伝承	2.76	1.99
	21. 郷土愛の醸成	2.67	1.98
	24. ボランティア・NPO 活動の推進	2.70	1.91
	25. 姉妹都市等との地域間交流の推進	2.88	1.84
	23. 男女共同参画社会づくりの推進	2.68	1.73
【第 4 象限】 満足度×:重要度× 必要に応じて改善を図るべきと考えられるもの	15. 障がい者にとっての暮らしやすさ	2.59	2.24
	32. 市内道路の整備・充実	2.61	2.24
	33. バスなどの公共交通サービスの充実	2.39	2.14
	1. 行政への市民参加の推進	2.55	2.14
	2. 地域コミュニティの活性化	2.61	2.13
	34. 憩いの場となる公園・緑地の整備	2.62	2.07
	10. 再生可能エネルギーの推進	2.57	1.91
	35. 城下町らしい和風デザインの推進	2.55	1.64

・優先的に取り組むべき項目の中で、特に重要度の高い 5 項目は「12. 地域医療の充実」「3. 健全な財政運営」「13. 子育て支援体制の充実」「31. 交流人口増加のための観光振興」「30. 中心市街地のにぎわい創出」であった。

◆設問 1 の回答結果まとめ

■設問 1：【必須】

設問 1 の 1～35 の取組の内、特に重要度が高いと思う取組の番号を記載してください。
(3つまで)

特に重要度が高い取組		

・設問 1 に関連して、特に重要度が高い取組を問う設問（3つまで選択）。

順位	項目	得票数
1	3. 健全な財政運営	41
2	28. 企業誘致の推進	40
3	13. 子育て支援体制の充実	32
4	12. 地域医療の充実	22
5	30. 中心市街地のにぎわい創出	17
6	18. 小・中学校の教育の充実	15
7	17. 保育・幼児教育の充実	12
8	31. 交流人口増加のための観光振興	11
9	1. 行政への市民参加の推進	10
10	5. ごみ減量化・リサイクル体制の推進	8
11	6. 安心して暮らせる消防・救急体制の整備	7
	8. 地域の防犯対策	7
13	11. 母子の保健事業の推進	6
	14. 高齢者の健康増進事業の充実	6
	29. 中小企業への支援の取組	6
	7. 震災を踏まえた防災対策	6
17	2. 地域コミュニティの活性化	5
	27. 水産業の推進	5
19	20. 歴史・伝統文化の保存伝承	4
	21. 郷土愛の醸成	4
	32. 市内道路の整備・充実	4
22	15. 障がい者にとっての暮らしやすさ	3
	16. 介護サービスの充実	3
	9. 道路交通環境の整備、交通安全教育の推進	3
25	10. 再生可能エネルギーの推進	2
	24. ボランティア・NPO 活動の推進	2
	26. 安定した農林業経営の支援	2
	33. バスなどの公共交通サービスの充実	2
	34. 憩いの場となる公園・緑地の整備	2
	4. 環境保全の推進	2
31	19. 生涯学習の充実	1
	22. 青少年の健全育成の充実	1
33	23. 男女共同参画社会づくりの推進	0
	25. 姉妹都市等との地域間交流の推進	0
	35. 城下町らしい和風デザインの推進	0

・「3. 健全な財政運営」「28. 企業誘致の推進」「13. 子育て支援体制の充実」「12. 地域医療の充実」「30. 中心市街地のにぎわい創出」が上位 5 位となった。

◆設問2 の回答結果まとめ

■設問2.【任意】

これからの相馬市の政策や事業推進に関して伺います。

これからの相馬市において「**重要な課題**」として取り組むべき政策や事業について、あなたの意見を挙げてください。(最大5つ)

(補足：設問の目的)

皆さまの意見を参考に、今後、真に取り組むべき課題を明らかにするための設問です。

ポイント

- ・あなたが担当する課題でも、市全体に関する課題でも構いません。課題の大小は問いません。
- ・現在「予算がない、人が足りない」ことで取り組めていないものも「重要」と感じる場合は挙げてください。
- ・「将来への備えや投資」、「予防措置」、「十分な準備や計画」など、現在、**緊急度が低く**、後回しとなっているものの、**重要な課題**がありましたら、**ぜひ挙げてください**。

これからの相馬市において「重要な課題」 として取り組むべき政策や事業	重要と感じる理由
例)「ふるさと住民登録制度」の他市に先駆けた積極的な推進	例) 関係人口増加・移住定住の促進と市内産業の活性化につながるため

- ・これからの相馬市において「重要な課題」は何かを問う設問。
- ・全体で193件の自由意見があった。
- ・回答を分野別に分類すると、「1. 産業・雇用・経済 (53件)」「2. 行政・財政・デジタル (44件)」「3. 子育て・教育 (28件)」「4. 移住・定住・人口対策 (26件)」「5. 医療・福祉・保健 (20件)」「6. 都市基盤・生活環境 (16件)」「7. 防災・環境・安全 (6件)」となった。

1. 産業・雇用・経済に関する回答 (53件)

回答は、①企業誘致・新産業誘致 (18件)、②観光・交流の強化 (16件)、③商業施設誘致 (7件)、④一次産業・地場産品活性化 (7件)、⑤商工業活性化施策 (3件)、⑥地域おこし協力隊等 (2件) に分類された。

回答 (抜粋)

これからの相馬市において「重要な課題」として取り組むべき政策や事業	重要と感じる理由
①企業誘致・新産業誘致 に関する回答 (18件)	
現役世代、特に若い人材が働きたいと思う企業誘致	転職が頻繁に行われている時代ということもあり、わくわくする、ぜひここで働きたいと思わせる企業がないと大学を卒業したらUターンはしてこないと思うからです。
大卒で就職したいと思う企業の誘致	大学進学で相馬を離れた若者が戻ってくる、税収増加、親と子の学力には相関関係がみられ重要課題① (児童生徒の学力向上) へ繋がる。
若い世代の人口流出を防ぐために、働き口となる企業の誘致や若い世代が魅力を感じる就職先の創造	人口流出の防止
女性が働ける企業誘致	移住やIターンが増えるため
IT 関連企業や働きやすさや教育の機会が充実しているような成長を重視した企業など、若手が魅力を感じる企業の誘致	中学生や高校生などに意見を聞き、これから社会人として働きたいと思う企業の誘致を進めることで若者の市外への流出を減らすため。

回答結果まとめ 設問 2

常磐道相馬 I C 付近の産業誘致開発 (特に物流施設の誘致)	本市は交通アクセスが充実しており、その利点を生かす取り組みが必要で、相馬を起点とした物流が活性化されれば相馬港を活用した物流にもつながるのではないかと思います。ただし、民有地（農地）しかないため用地確保がむずかしい。
産業構造の転換・・・再生可能エネルギー・水素産業の集積、農水産業の高付加価値化、工業団地等への企業誘致	震災後は復旧中心→いまは自立的産業が課題、新エネ・水素などの実証拠点化が進行
産業振興と雇用創出 例えば、再生可能エネルギー関連産業の誘致	安定した雇用がなければ、若者は都市部へ流出し続けるため
働く場の確保。特に若者や女性。イノベと連携した新たな産業の呼び込みなど。	市の生活者にとって安定した生活基盤を持ってもらうため。過度な人口流出の抑制。
企業誘致や市内既存企業への支援など	移住定住の促進や関係人口の創出には、まず働く場所をつくるのが重要だと感じているため。移住を考えている人の話を聞いたことがあるが、働く場所があるかどうか聞かれることが多かった。仕事がなければ人口減少に歯止めがきかなくなると思います。
②観光・交流の強化 に関する回答（16 件）	
観光資源の PR や周知不足、新たな観光に係る企画の創出など	市でも SNS で観光に係る PR などを行っているが、自治体の職員の経験や能力だけでは限界があると感じているので、外部からの知恵を借りることも必要かと思います。また、観光をさらに盛り上げるためには既存のものにからめたものでもいいのでなにか新しいイベントを創出する必要があると思います。
浜通り地域(南相馬市、相馬市、新地町)全体での観光産業の推進	相馬市だけでなく、近隣自治体を交えたツアーなどを行い、相馬市や近隣自治体の魅力を発見する機会をつくり、交流人口や関係人口を増やすため。
国際交流や文化の多様性促進	食文化や伝統文化を積極的に PR していくことで、内外で日本文化への注目を維持できるため。これにより、伝統文化の継承がより強固になり、次世代にもその価値が引き継がれる仕組みが生まれます。相馬の文化などが海外でファン層が広がれば、観光産業にもつながる可能生がある。
スポーツ施設や海産物などを目的とした観光客を交流人口として確保する事業	外からも人を呼び込みお金を落としてもらうことで地域の活性化につながるため
相馬市の独自資源(松川浦、塩手山、パークゴルフ等)を活用した体験型観光の推進、SNS や web を活用した情報発信	経済活性化および交流人口の拡大につながるため
松川浦の再開発	現代の観光の主流は人間の手が入ったところに移行しつつある。
馬陵通り沿線への物産施設の整備	賑わっている浜から街中へ観光客を導くためには、何かしらの観光施設の整備が必要と感じており、スポーツアリーナそうま第 2 体育館北側の空地に和風造りの物産施設があると良いのでは無いかなと思う。
総合運動場の建設	陸上競技場や野球場がない市を知らない 大会等を誘致することで地域経済活性化、交流人口拡大につながるため
観光地の整備	浜の駅周辺に商業施設を建設するなど、より観光客を増やす施策が必要のため
交流人口拡大のため訪れたいくなる又は住みたくなくなるような都市の景観整備、商業施設誘致、歴史にこだわらない新しい観光資源の創造。	見た目がよいとか、ショッピングモールがあると人が集まり交流人口増加や移住促進につながる。海岸の景観をよくするとか公園に季節ごとの花を植えてライトアップするとかして集客しているところがある。
観光事業について	尾浜原釜は浜の駅を中心に市外からの来訪者が多いと感じるが、他の地区は野馬追時期を除いて市外から来る人は少ないと感じた。市民アンケートにもあったが、私自身過去に知人が来たときに魅力を伝えなかったが案内できるところが少なかった。食に関して海鮮の分野が強みであり、観光協会のサイトやローカル番組で相馬が取り上げられ際に紹介されることが多いが、物価高などもあり気軽に食べられるものではないことから、海鮮以外のお店を注目してもらえる取組があれば良いなと感じた。他市町村のイベントに行った際に良いなと思ったのは、よくある綿飴やたこ焼きの屋台だけではなく、様々な地元の飲食店が出張して販売できる機会があればイベントが無いときでも市外から相馬を訪れるための理由の 1 つを増やせるのではないかなと思いました。
相馬市で育ったことを誇ることが出来る郷土教育が必要だと思います。義務教育課程に於ける郷土教育の実施等	ほとんどの場合、大学進学で市外・県外となりますが、相馬市を深く理解・説明できる人材を育てることで、関わった相手に相馬に行ってみようという交流人口増えと考えられるため。また、相馬市を深く説明できる人材は郷土愛も醸成される傾向が高いと考え、最終的に市内に戻ってくる可能性が高いと考えられるから。
伝統文化の保存伝承と、水産業の推進	相馬野馬追は他にはないものであり、来世まで繋げていかなければならないものだから。
③商業施設誘致 に関する回答（7 件）	
中心市街地に若者が集まれる商業施設の誘致	遊び場がないため市外に出かけている状況。市街地に遊べる場ができることにより人の流れが起き、周囲の施設も利用されると思う。

回答結果まとめ 設問 2

複合型商業施設、映画館などの企業誘致	生産性の関係で難しいと思うが、若者は服や小物などを含めてネットや南相馬市、名取、仙台などに買い物に行っている現状があるため、相馬市にも子どもから大人まで楽しめかつ集客が見込める商業施設があったら良いと思う。
産業の活性化、商業施設や企業誘致など	子育て期にある若い世代が住居を構えるとき、働く場所があるか、生活に必要な買い物ができるかどうかは重要だと思います。
商業施設の誘致	地方創生に関する市民アンケート結果により、市民が求めている明確に相馬市に対して足りないものと感じる。特に若い世代が求めている、現在の相馬市に対し既にあきらめなどすら感じている様である。せっかくこうしたマイナス意見をうけとっておきながら何もしないのはもったいない。
若年層の流出を防ぐための、商業施設の誘致活動	自分の市に遊び場や憩いの場がないために外部に流出するため
④一次産業・地場産品活性化 に関する回答 (7 件)	
相馬市における基盤事業（水産業）の強化	相馬における強みは相馬港がある水産業と考えている。近年であればトラフグがとれるなど、地域を宣伝できる魚種もある。相馬福島道路等の交通網を生かし、地域の強みを生かせるのではないかと考えられるため。
「福とら」ブランド化推進など新たな観光施策や移住定住支援など交流人口拡大に向けた取り組み	地域経済の活性化や地域活力の創出につながるため。
農業の担い手の確保のため、効率化・高収益化に向けた行政としての支援を積極的に実施	団塊世代が農業に従事できなくなることで、一気に農地の荒廃が進んでしまうため、単なる補助に留まらず、積極的な介入が必要と思われるため。
農業の大規模化	小規模農地が多すぎて効率的でない。担い手も減っているのだから、圃場整備等を積極的に行い、効率的な農地を作り、大規模農家や企業の進出を推進していくべき。
田んぼオーナー制度の推進	企業が田んぼのオーナーとなり、田植えから収穫まで地域住民や高齢者を行うことで、高齢農家の負担軽減や耕作放棄地の解消が望める。地域貢献活動を進めている企業にとっては、地域住民との信頼構築や企業イメージの向上につながるのではないかと考えるため。
⑤商工業活性化施策 に関する回答 (3 件)	
相馬中核工業団地東地区の拡張	相馬中核工業団地東地区は分譲地が無いが、相馬港後背地の利点があるため企業からの問合せはある。周辺の市有地（危険区域買い上げ地や遊休地など）または民有地を工業用地として確保した方がよい。
商店街の集約	今のまちなかは店舗兼住宅となっているものが多く、閉店しているところも多い。相馬市の商店街といわれるものがほぼ廃墟化している。中心市街地活性化のためにもどこが中心なのか定めて整備するべき。
雇用や商業の課題には、大規模誘致にのみ依存せず、在宅でできる仕事の受け入れ、地元店のネット販売やキャッシュレス導入支援等、小さく始められる支援を推進する。	財政的にも多額の公共投資はリスクが大きい（不可能）と感じるため、限られた予算でも効果を出しやすい政策を優先すべき。
⑥地域おこし協力隊等 に関する回答 (2 件)	
地域おこし協力隊の導入	丸森町のように、起爆剤として新たな風が必要
地域おこし協力隊・復興支援員制度を活用した市外人材の活用	まちのにぎわいづくりや営利事業など、市役所で行うのがなじまないものがあるが、市内には高齢化、後継者不足で新たな取り組みが行えない事業者が多く、市内の空洞化、魅力不足に陥っていると考えられるため。

2. 行政・財政・デジタルに関する回答 (44 件)

回答は、①公共施設や学校の統廃合 (11 件)、②健全な行財政運営 (9 件)、③戦略的な政策・選択と集中 (8 件)、④デジタル化の推進 (5 件)、⑤財源確保 (5 件)、⑥地域コミュニティとの連携・人材確保 (4 件)、⑦広域連携・共同化の推進 (2 件) に分類された。

回答 (抜粋)

これからの相馬市において「重要な課題」として取り組むべき政策や事業	重要と感じる理由
①公共施設や学校の統廃合 に関する回答 (11 件)	
人口減に伴う歳入に応じた政策や設備に変更すべきだと考える。具体的には、子どもの数に応じた幼稚園、保育園、小中学校の統廃合の実施。市民の利用状況等に応じて、生涯学習施設 (公民館、スポーツ施設) の休止・廃止。受診者に応じて、公立相馬総合病院の標榜する科の縮小。許可権限についても、権限委譲で市がもつ許可権限を町や村程度に合わせて福島県に権限を返還する。	人口 3 万人の自治体として、過剰な施設や権限があると考え。さらなる人口減少を見越して、余分なものは省くべき。
人口減少に伴う各種体制などの見直し (学校再編・消防団再編・行政区再編・公共施設の統廃合など)	ピーク時の人口は約 4 万人、現在は約 3.2 万人、人口が 2 割減少。人口減少に併せて行政運営もスケールダウンや見直しを実施すべき。(特にハコモノ関係) 維持管理などの経費が増える一方。
公共施設やインフラの統廃合に関する検討・ビジョンの策定	2050 年の人口予測は約 25,000 人である。その時の相馬市民にとって必要な施設・インフラとは何かをビジョン化し、リソースの最適化を図る必要があると考えるため。
小中学校や、震災後に激増した建物や施設の統廃合	相馬市の (財政的、人口規模的に) 身の丈に合っていない学校数、施設数なので、早急に対応しないと相馬市が持続可能ではないから。
学校の統廃合	少子化は明らかであり、施設運用の効率化が求められるため。実施にあたっては中心市街地の再開発も含め、まちづくりの計画と連動して実施すべき。
市内公立小学校・幼稚園の統廃合	子どもが少なくなつて学びの環境悪化に加え施設の維持管理費用が発生するため。送迎のスクールバスを走らせたほうが安上がりなのでは。
小学校の統廃合	子供が社会を学ぶ場や競争の場としても少人数学級よりある程度の人数がいたほうが良い。地域の意見ではなく今子供を育てている世代の気持ちを優先していただきたい。子育て世代は少人数学級をいいものと思っています。
②健全な行財政運営 に関する回答 (9 件)	
財政計画の精度の向上	人口減少対策、施設の老朽化の更新、今後不要になる施設の選定など難しい問題が多い。子供数の減少の影響から学校などの更新についても場所などから考え直す必要が有るかもしれないと考える。全てまちづくりと財政計画とつながっており、とくに、公共施設の総合管理計画など支出の大きいものの精度を高める必要が有るのではないかとと思う。
健全な財政運営	パークゴルフ場は 2 つもいらない、サッカー場もすべて人工芝にして、年間の維持費を下げるべき、学校の数も減らしていいのではないかと、石炭灰埋め立て処分場が終了した後の安定的な財源の確保、思い切って核燃料の最終処分場などの誘致なども考えてもいいのではないかと思います
財政健全化	従来型の予算執行を見直す必要がある。社会教育施設一時休止や小中学校の統合、社会基盤整備の見直しなど、生活に必要な部分に予算を投入し、生きる上で優先順位の低い事業を取りやめるなどの方向性を示すべき。文化や生涯学習などの縮小が必要。
優先順位を付けた支出による健全な財政運営	財政再建団体になった場合、柔軟な事業の執行が困難になるため
③戦略的な政策・選択と集中 に関する回答 (8 件)	
全般的な事項になりますが、「選択」と「集中」	マスタープランに掲げる事項について、まんべんなく実施する (すべての項目について 70 点程度) のではなく、市の強み・長所である事業に対し、人材・予算などを割くべき。(1 つの事項に対して、120 点を狙うイメージ。平均以下の点数の事業があってもやむを得ないという考えで臨んでもいいのでは? 対外的には言えませんが) 相馬市程度の市は、他市と同じようなことをしては生き残れないと思います。

回答結果まとめ 設問 2

庁内の企画力の強化とデータ活用（EBPM）のための体制整備	まちづくりを計画的かつ戦略的に進めるため、各部門において企画立案の体制を強化する必要がある。また、現状把握や未来を見据えた計画作成にはデータの活用が欠かせないため、データ活用のための体制整備も必要。
相馬ならではの政策	特段これというものは今は思い描けないが、ワークショップなどを通して相馬市ってどうあるべきというのをまとめる。年代ごとに行うのがよい。若手の意見が重要。
今後相馬市どのような街を目指すのか、市役所や市長がはっきりさせること	まんべんなく幅広い施策に取り組むのではなく、何かに特化した(重点を置いた)施策を展開することで、相馬市が目指す方向が市民にも伝わり、まさに一致団結した街づくりができるのではないかと考える。
人口減少を見据えた戦略的な行政の効率化	日本全体の年齢別人口構成を見ても、人口減少は避けられない未来であることから、それを前提とした行政運営・財政運営をしないと、「相馬市が相馬市であり続ける」ことが不可能で破綻することが確実だから。
ビルド&スクラップ	少子化、職員減少の中、同水準のサービスを提供していけるか不透明なため。人口が減っていくため、スクラップの必要性が増してくると思います
④デジタル化の推進 に関する回答（5 件）	
庁内の働き方改革・AI 活用の推進	生成 AI の進展により、業務の大幅な効率化が期待できる。導入には AI 活用を前提とした働き方の見直しが必要であるため。
AI を活用した業務の推進	業務の効率化や人手不足の補完、人為的ミスが減らせるなどのメリットを活かしていく必要性を感じるため。
デジタル化の推進	スマートフォンでの税金の支払いや、Logo フォーム等での申告は市民の利便性を高めるため、より推進していくべきと思うため
⑤財源確保 に関する回答（5 件）	
「ふるさと納税」の強化	ふるさと納税でかなりの税収アップを実現した他自治体の例もあるため、人口減少を止められないなら、外からお金をもらう仕組みを強化すべき。
ふるさと納税の拡充による自主財源の確保	特色ある政策を立案するための財源確保は重要だと思うから
⑥地域コミュニティとの連携・人材確保 に関する回答（4 件）	
コミュニティ機能の醸成（防災・ごみ・高齢者など）	なにかあると、相馬市民は、「行政がなんでもやってくれる」と思っている。地域のコミュニティ機能を醸成し、活性化することで、コミュニティの中で防災・ごみ問題・高齢者の見守り等、できることはたくさんあると思う。親世代や同世代の方が話しているのを聞くと、「市役所に言えばいいんだ」という声を頻りに聞く。コミュニティの機能を高めることで、行政側の負担が軽減されるのではないかと考える。
地域における自助・共助の推進	今後の人口減少、財政状況を考慮し、個人・地域の活動を推進する必要があると思われるため
地域コミュニティとの連携	公民館を最前線基地として、地域住民と連携をとることで行政への参画もやりやすくなる
人材確保、人事評価制度の適正な反映	有望な職員流出が顕著。退職者を出さない対応が必要。
⑦広域連携・共同化の推進 に関する回答（2 件）	
行政の効率化を目的に、さらなる広域行政（現在の新地町、南相馬市のほか、連携先として宮城県東部を考慮）に取り組むべき。具体的には、焼却場、火葬場、処分場、病院等について人口や利用に応じて、施設を集約し無駄の削減を行う。	人口減に対して、リソースや施設を集約することで無駄の削減を図る。また、複数自治体が共同で運営することで、コスト負担を軽減する。将来の市町村合併を見据えたい。
広域化・共同化の拡大	将来義務的な自治体合併が起こりうると想定し、隣接自治体との連携を図るべきと考えるため。

3. 子育て・教育に関する回答（28 件）

回答は、①子育て環境・支援の充実（21 件）、②教育の充実・学力向上（7 件）に分類された。

回答（抜粋）

これからの相馬市において「重要な課題」として取り組むべき政策や事業	重要と感じる理由
①子育て環境・支援の充実 に関する回答（21 件）	
今の若者は、子育て支援の充実した街に移住する傾向にある。まず、ふるさと納税等によりお金を稼いで、子育て支援や移住者に対する住宅支援等、若者に選択してもらえる市をめざすのが、最優先課題と考えます。相馬市独自の施策じゃなくてもいいので、他の成功している自治体を真似てもいいのでは。	若者がいない街が賑わうわけがない。
これから子どもを産み育てる世代が相馬市に定住を希望するような施策。全年齢の保育料無償化等。	子育て世代の南相馬市への転出が目立つため
保育の全年齢無償化	働き手の確保や男女共同参画のため、子育ての支援はもっと拡充すべき。
子供の遊び場の創設	富谷市のような、若年夫婦の子育ての憩いの場があると良い。自然と人が集まる
保育士の待遇向上・保育施設への補助増額	保育士が増えれば待機児童も減らせるため
子育て支援や結婚への支援など	相馬市で子供を育てる選択をする人を増やすためには、単純に他の自治体と比較して相馬市で子供を育てるメリットのある支援をしていくしかないと感じているから。また、結婚した方への何らかの助成も効果があると思うからです。
子育て支援の充実	国の補助金の活用が不十分（組織の問題と人員不足）子育て世代の他市町への流出防止
子育て支援政策の強化	住みたいと思える魅力ある街づくりが必要。学校の全クラスに ALT を配置するとか保育所でのスポーツインストラクターの配置とか魅力ある施設づくりを進める必要がある
入学に併せて準備しなければいけない物があるが、準備金の負担が大きい。子供の人数が多い世帯は負担が多くなることから出産を控えることに繋がると思う。他自治体より優遇を図るため、準備金を補助する。	
②教育の充実・学力向上 に関する回答（7 件）	
教育の質の向上による移住政策	市内工業団地などで働いている人のうち、家族がいても単身赴任などで一人で相馬に来ている男性も多いはず。そういった方に相馬で子育てさせたいと思わせるため首都圏よりも高水準の教育を受け移住を選択肢に挙げさせたい。また生活面でも課題①で述べた「商業施設の誘致」などを充実し合わせた対応が必要。
質の良い教育政策	今後人口減少は止められないと考えられるため、いかに少人数で効率的に回すことが重要になる。したがって効率化を考えられる人材が必要だから。
教育	相双地方の子どもの学力は低いと長年言われているが、最近はとくに顕著なのではないかと感じている。数十年前は仙台の私立高校に進学する人は珍しいほうだったが、最近では私立高校に進学する人が増えていると聞く。それは、もっとレベルの高い授業を受けたい、周りと同じ熱量で学習したいという想いがあって、それは相双の高校では叶わないと感じているからではないかと思う。教育の充実や学力向上の取組は、若者の U ターンや人口増にもつながると思うから。
学力向上のための稀有な取り組み。イノベ構想との連携。	優良な教育環境を整えたいと思う親心。学生の他地域への流出抑制。
小中学校の教育（親の意識改革も含め）	未来の相馬を担う人材育成が大切だと思うため

4. 移住・定住・人口対策に関する回答 (26 件)

回答は、①若者流出抑止・定住対策 (10 件)、②市の魅力づくり・アピール (7 件)、③少子化・人口減少対策全般 (9 件) に分類された。

回答 (抜粋)

これからの相馬市において「重要な課題」として取り組むべき政策や事業	重要と感じる理由
①若者流出抑止・定住対策 に関する回答 (10 件)	
生産年齢人口を増やすための取り組み (近隣市区町村へ勤めやすいように交通補助、働く場の提供、子育て支援など)	産業の活性化、生産年齢人口の増加により、収入が増加するため (①地域間の通勤ハードルが下がることで、求職者の選択肢が広がり、雇用のミスマッチを減少させる。②子育て支援が充実していれば、特に女性が仕事と育児を両立しやすくなり、労働力が増加する。)
人口減少・若年層流出対策・・・若年女性・子育て世帯の定着 (住宅+雇用+教育の一体支援)	婚姻減少、若年女性流出、Uターン不足が課題
若者への優遇	都会への人材流出を減らす 生活費補助等
人口減少対策(とくに若者の流出抑制)	人口が毎年減っている状況で、相馬市の存続に関わる重大な課題と認識すべき。高校生が進学で相馬市を離れてしまうのは仕方がないが、就職や転職で相馬市に Uターンして定住してもらうことが、相馬市が存続できる道だと思う。
定住対策	定住対策は、市内の企業に勤める方でも、市外に家を建てる方が多いことから。
地域産業を支える人材の確保 (若年層の移住受入・Uターンの推進)	市内産業の活性化につながるため
②市の魅力づくり・アピール に関する回答 (7 件)	
行政・民間が他自治体の好事例を参考にし、相馬市へ移住し、起業したいと思ってもらえるような魅力を発信するとともに、その人たちを支援できる体制の確保	人口の減少を食い止めることはできないため。ニュースを見ていると、起業したい人と自治体が協力して新たな産業を生み出し、それを全国に PR することで、その自治体が全国に知られるようになるなど、成功している例がたくさんあると思う。若手県には今起業したい若者がたくさん来ているというニュースを見たことがあるので、そのような事例を参考に相馬市でできることはないのか、考えていっても良いと思う。これまでは、相馬市のことは相馬市民が考える、というような他者は受け入れられないような風潮があったのかもしれないが、他者から見える相馬市が本当の相馬市だと思うので、その方たちと協力して相馬市の魅力を発見・発信してほしい。
若者が住みたくなる、住める、集まれる環境づくり	若者が集まれる場所 (カフェ・大手チェーン・大手商業施設) や若者が就きたいと考える企業がが少ないため市に魅力を感じていないように思える。人口減少の加速を抑えるためにも若者をつなぎとめる方策が必要。企業も優良な立地企業は多くあるものの、工業系に限られており、広範な事業者のジャンルがあるわけではない。IT 関連やサービス業などが立地できるような誘致活動や助成が必要なのでは。
人口減少の対応と市の魅力アピール。	市全体として活気を感じない。選ばれる魅力ある市で、住みたいと思ってもらえる特徴のある相馬市にしていきたい。
他自治体との差別化 (相馬市にしかない魅力を発信)	「松川浦」や「福とら」など相馬市だけのブランドイメージをつけることで、若年層の郷土愛や Uターンに繋がる
子供たちが相馬市に残りたい、戻りたいと思う魅力作り	将来の人口減少を考えると子供たちが残りたいと思うかが重要と考えるため
③少子化・人口減少対策全般 に関する回答 (9 件)	
少子高齢化対策が重要。	若者が流出し、高齢者が増える状況では税収が減って医療費が増え、財政が破綻するため。
人口減少、空き家・空き店舗の対策。娯楽施設の誘致。	若年層の流出防止。市街地の活性化。防犯対策。など。

5. 医療・福祉・保健に関する回答 (20 件)

回答は、①産婦人科 (8 件)、②地域医療・公立病院 (6 件)、③福祉サービスの充実 (6 件) に分類された。

回答 (抜粋)

これからの相馬市において「重要な課題」として取り組むべき政策や事業	重要と感ずる理由
①産婦人科 に関する回答 (8 件)	
医療の充実 (特に産科、小児科)	子育てのしやすい街を選んで移住する傾向にある現状で、産婦人科もない市に若者がくるわけがない。また、相双地区の医療に不安を感じている高齢者も多いためのが現状。
地域医療の充実。特に産婦人科	市民アンケート結果からも分かる通り産科がない市では子どもを育てたいと思わないひとがいるので、早急に対応すべきだと思ったから。
妊婦健診から出産まで見てくれる産科の確保	子育て期にある若い世代が住居を構えるとき、産科、小児科が利用しやすいかどうかは重要だと思います。
②地域医療・公立病院 に関する回答 (6 件)	
今後の地域医療の在り方について (公立病院の在り方について)	今後の公立病院の経営改善が喫緊の課題。市の財政にとって、非常に重要な問題 (影響) がある。
公立病院の廃止	財政面・評判ともによくない。必要に応じて通院への支援を行えば問題ない。
地域医療の維持。	地域医療が提供されない状態は、そこに住む人やそこで働く人が去ってしまう恐れがある。また産科が無いことにより、安心して子どもを産むことができる環境がないため。
③福祉サービスの充実 に関する回答 (6 件)	
自宅の見守りセンサーや緊急通報、オンライン診療・服薬指導、介護事業所の記録のデジタル化、地域包括支援センターや民生委員との情報連携の強化	医療・介護の人手不足でも、重症化を防ぎ、自宅で安心して暮らせる。救急や入院の増加を抑え、家族の負担と医療費の増加も防ぐ。
障がい児サービスの充実	サービスを求める人数の増加、子育て世代の他市町への流出防止
社会福祉サービス全般の担い手確保	社会福祉サービス全般が機能しなくなる恐れがあるため。

6. 都市基盤・生活環境に関する回答 (16 件)

回答は、①都市構造の見直し・再開発 (8 件)、②道路・交通 (6 件)、③ごみ減量と再利用推進 (2 件) に分類された。

回答 (抜粋)

これからの相馬市において「重要な課題」として取り組むべき政策や事業	重要と感ずる理由
①都市構造の見直し・再開発 に関する回答 (8 件)	
都市計画、農用地などの見直し	商業施設は承知のとおり、大規模化拡大しており、それに伴って必要用地も必要とされている。しかし、相馬市の市街地周辺は、ほぼほぼ農振区域となっており、これ以上の町の広がりが困難。せっかく相馬福島道などができているのでその辺りの見直し検討が必要。まちづくりを見直すことで固定資産税の増収なども見込めないか検討すべきではないか。
中心市街地の長期的な再開発計画を立て、商業施設・居住エリア・公園・公共施設等も兼ね備えたコンパクトシティ化を図る。	街の魅力が低下しており、計画的で機能的なまちづくりが必要と感ずるため
人口減少を踏まえた相馬市の街づくり	人口減少が進む中、すべてのインフラ等の維持管理を行うことは不可能。公共施設だけではなく民間施設も踏まえて、コンパクトシティに向けた新たな街づくりが必要
相馬駅の東西自由通路 (できれば東口開設) の設置	駅の東西間の往来ができることで若者の行動範囲も広がり、旧国道沿い等への新規店舗出店が期待できる。また、中心市街地活性化の一助にもなり、大きな投資にはなりますが将来への投資につながると感ずいます。
中心市街地のにぎわい創出	相馬市の人口減少をとめるために、市街地のにぎわい等魅力的な街づくりが必要だと感ずる。
メイン道路 (国県道) 周辺の農地関係の縛りの緩和	インターチェンジから相馬新地線 (県道) までもお店もなく、メイン道路のはずが殺風景。もったいない。

回答結果まとめ 設問 2

津波被災地・移転跡地の利活用・・・民間投資誘導（PPP/PFI） 防災＋産業の一体型土地利用	移転跡地の利活用が進んでいない。復興の賑わいを取り戻したい。災害レッドゾーンへの開発規制とどのように両立させるか。
②道路・交通 に関する回答（6 件）	
施設や道路・水路の状態及び修繕費用を見える化し、優先順位をつけて計画的に修繕・更新	人口減の中で全てを同じようには維持できない。壊れる前に手当てして維持費を抑え、必要な機能は確実に残す。
舗装道路の老朽化	生活の基盤である道路において、舗装が寿命に達している路線が多数あり、打ち替える必要があるため
自転車専用レーンの整備	道交法改正により自転車が道路を走行することが一般的になるが、車社会の地方都市にとっては障害になりえる。通勤通学時は自動車、自転車、徒歩の手段で移動する住民が集中するため、時間制の自転車専用レーンを設けて自動車と自転車を分離する等、交通の安全性を向上させる必要があるのではないか。
公共交通の整備	コンパクトシティに向けてだれもが住みやすい街づくりが必要。路線バス、おでかけミニバスを統合し、コンパクトシティと整合性のとれる交通網を整備する
高齢化対応と地域サービス維持・・・公共交通（デマンド交通）の維持	人口減少＋高齢化が進行 医療・交通・生活機能の維持が課題
③ごみ減量と再利用推進 に関する回答（2 件）	
家庭等から排出されるごみの減量と再利用の推進	正しく分別されないまま捨てられているゴミを見かけるし、埋め立てする土地にも限りがある。ごみに対する市民への意識付けが重要。ルールを守らない人が一人でもいると、それが他の人にも影響し、あの人がやってるからいいんだ、という負の連鎖になっていると思う。昼ごはん後に捨てられたごみを見ると、職員でもごみの分別をしていない、やらない人が多いと思う。個人のモラルも影響していると思うが、どのようにごみを排出しても回収してくれるという感覚があるのではないかと思う。
ごみ減量化	受口に限りがあるため

7. 防災・環境・安全に関する回答（6 件）

回答は、①防災・安全（4 件）、②エネルギー・環境（2 件）に分類された。

回答（抜粋）

これからの相馬市において「重要な課題」として取り組むべき政策や事業	重要と感じる理由
①防災・安全 に関する回答（4 件）	
防災・減災と地域レジリエンスの強化 例えば、防災拠点を「普段使い施設（交流拠点）」に転換	防災は日常に組み込まれたときに機能するから。相馬市は震災経験を活かし「防災先進都市」になれると考えます。
震災を踏まえた防災対策	今後、宮城県沖地震が発生するといわれており、被害が最小限に住むように対策を検討するべきだと感じる。
東日本大震災の教訓を風化させない取り組み	東日本大震災から 15 年が経過し、風化が進んでいると感じるため。
防犯対策（防犯灯）	市街地なのに暗く、いろんな意味で危ない。地区に維持費を払ってもらうのは難しいのでは。補助やソーラー式などにして地元が負担することを極力なくすべき。
②エネルギー・環境 に関する回答（2 件）	
環境保全の推進	玉野地区のメガソーラーを見ると土砂災害のリスクを感じる。美観的にも良くない。
再生可能エネルギー用地の確保。	エネルギーの地域での消費につながればよい。

回答結果まとめ 設問 2

設問 2 の回答を分野ごとにキーワードで表すと、下記のとおりとなった。

大分野	小分野	キーワード
1.産業・雇用・経済 (53 件)	①企業誘致・新産業誘致 (18 件)	若い人材（大卒人材）や女性が働く場所の確保、新たな産業の誘致、移住・UI ターン者確保
	②観光・交流の強化 (16 件)	外部連携強化による観光推進、観光強化のための施設・景観等の整備、既存資源の活用、伝統文化の保存・郷土教育、PR 強化
	③商業施設誘致 (7 件)	若者流出の要因への対策、遊び場・憩いの場の確保、定住促進、多くの市民の意見
	④一次産業・地場産品活性化 (7 件)	水産業の強みを生かす、農業者の高年齢化への対応、地場産品の高付加価値化
	⑤商工業活性化施策 (3 件)	工業用地拡張、商店街集約、既存店舗への支援
	⑥地域おこし協力隊等 (2 件)	外部人材活用、新たな風による活性化
2.行政・財政・デジタル (44 件)	①公共施設や学校の統廃合 (11 件)	人口に対して過剰な施設、維持費の最適化、持続可能なビジョンの策定
	②健全な行財政運営 (9 件)	財政計画見直し、事業の優先順位付け
	③戦略的な政策・選択と集中 (8 件)	目指す方向の明確化、事業の選択と集中、強みや立ち位置を生かした戦略的な取組、事業の大胆なスクラップ、裏付けとしてのデータの活用（EBPM）
	④デジタル化の推進 (5 件)	生成 AI 活用を前提とした働き方の見直し、オンライン化推進
	⑤財源確保 (5 件)	人口減少下での財源確保、ふるさと納税強化
	⑥地域コミュニティとの連携・人材確保 (4 件)	人口減少・担い手確保を見越した地域力強化
	⑦広域連携・共同化の推進 (2 件)	広域化・共同化による効率化・最適化、人口減少下において必要となる市町村合併への備え
3.子育て・教育 (28 件)	①子育て環境・支援の充実 (21 件)	他市町村と比較し優位性のある子育て支援策、子育て世帯の定着促進、補助金活用
	②教育の充実・学力向上 (7 件)	周辺地域と遜色ない教育レベルの確保（特に高校において）、子育て世代の流出抑制
4.移住・定住・人口対策 (26 件)	①若者流出抑止・定住対策 (10 件)	U ターン強化、若者への支援・補助、市内で勤める人の市内への定住
	②市の魅力づくり・アピール (7 件)	民間・外部人材と協力した新たな魅力づくり、若者が魅力を感じる企業や遊び・憩いの場の確保、子どもたちが残りたいと思えるまちへ
	③少子化・人口減少対策全般 (9 件)	若者流出の防止
5.医療・福祉・保健 (20 件)	①産婦人科 (8 件)	子育てする場所として選ばれない要因、市民から多数の意見
	②地域医療・公立病院 (6 件)	地域医療の維持、公立病院の経営改善と今後の在り方検討
	③福祉サービスの充実 (6 件)	高齢化のさらなる進展、担い手不足への対応
6.都市基盤・生活環境 (16 件)	①都市構造の見直し・再開発 (8 件)	コンパクトシティを目指した市街地再開発、土地の利用用途の再検討・各種規制の見直し、中心市街地活性化
	②道路・交通 (6 件)	道路整備と計画的な修繕、コンパクトシティと整合した公共交通の整備（コンパクト＋ネットワーク）
	③ごみ減量と再利用推進 (2 件)	ごみ分別のモラルの浸透、埋立地の限界
7.防災・環境・安全 (6 件)	①防災・安全 (4 件)	震災の経験を活かした災害への備え、防犯灯整備
	②エネルギー・環境 (2 件)	エネルギー地産地消と環境保全

◆設問3 の回答結果まとめ

■設問3.【任意】

これからの「働き方（仕事のやり方）」について伺います。

市職員の働き方や職場・組織のあり方について、「10年後にこうなっていたい」と、あなたが描く理想の姿を、「何が」「どうなっている」の形式で挙げてください。（最大5つ）

（補足：設問の目的）

市職員の働き方をバックカastingで改善するため、10年後の理想の働き方を伺うものです。

何が （市職員の働き方や職場・組織）	どうなっている （あなたが思う10年後の理想の状態）
例1）業務に割く時間の割合	例1）雑務は自動化・効率化され、市民の声を聴き、真の課題に向き合う時間が増えている

- ・10年後の相馬市の「理想の働き方・職場・組織」はどんなものを問う設問。
- ・全体で142件の自由意見があった。
- ・回答を分野別に分類すると、「1.組織運営・人事制度（47件）」「2.柔軟な働き方・ワーク・ライフバランス（WLB）（34件）」「3.DX・AI・業務効率化（33件）」「4.窓口業務のあり方（18件）」「5.職場環境・コミュニケーション（10件）」となった。

1.組織運営・人事制度に関する回答（47件）

回答は、①業務量の最適化・適切な組織編制（20件）、②適正な人事評価（10件）、③意欲的にチャレンジできる職場（9件）、④チーム力と協力体制（7件）、⑤その他（1件）に分類された。

回答（抜粋）

何が（市職員の働き方や職場・組織）	どうなっている（あなたが思う10年後の理想の状態）
①業務量の最適化・適切な組織編制 に関する回答（20件）	
市役所職員全員それぞれの業務の負担	すべての部署において個人1人あたりの業務量が均等になる。業務量が多い部署には必要な人数を適切に配置している。
職員配置	頑張れる職員に仕事が偏りすぎている。職員のワークライフバランスを考慮した昇進等の選択ができる職場。
組織編制	業務量の偏りがあまりなくなっている
組織編成について	課題ごとに部課横断のプロジェクトが常態化している
組織構成	柔軟に人や時間、予算を割り振ることができる
必要な人員の確保	事務職はもとより、技師職特に電気技師や保健師など必要な人数を適宜把握し、採用できている状態。
業務の委託	職員数も減っていく中で、業務委託を推進している。大量の通知書の送付や日直業務等。
高卒採用	若者定住や東京等への流出を防ぐため、民間に限らず市役所も優秀な高校生を採用している。
職員の数	市民などからの要望は多いがそれに対応する職員の数が少ないので増やした方が良いと思う
専門職の自由配置	事務職が土木職、土木職が事務職、看護職が電気職など多様な人事が出来るような状態。
住民ニーズに見合った行政組織	真に必要な行政サービスだけを行っている。

回答結果まとめ 設問 3

職員の能力	偏りがなくなっている
②適正な人事評価 に関する回答 (10 件)	
評価制度	職員ごとの成果だけでなく、担当する業務の性質や難易度に応じて評価される制度になってほしい。公務員の仕事は定量的な評価だけでは、本人の能力を判断することが難しいと思うため。
給与体系	能力、評価が給与へ反映されている状態であり、モチベーションのひとつになっている
人事評価が	高評価者も給与反映され、職員の意欲及び積極性が向上し、能力開発がされている。
職員の昇格について	試験制度が導入されている
資格に対する評価	手当をつける。
③意欲的にチャレンジできる職場 に関する回答 (9 件)	
職員一人ひとりが	市の目標・課題を客観的なデータで把握し、目標に向かって主体的に仕事に臨んでいる
組織の在り方	業務改善、課題対応などのチャレンジに対して実行できる組織となっている
職員のキャリアパス	希望に応じて個人の能力・特性が最大限生かせる形のキャリアパス制度が確立されている
職員の配置	職員の希望・意志を加味した配置にすることで、休職者を減らすことにつながる。観光や企画、税務、財政などにおいて、専門知識やこれまでの経緯などを途切れさせないよう、異動させない専門職員(専門官)という立場をつくる。
若い職員	若い職員が増えて新しい感性をもって、市政を導いてほしい。
若手職員の向上心	ボトムアップが当たり前の職場になっている
役職定年職員	生き生きと働けるビジョンが描けている状態
④チーム力と協力体制 に関する回答 (7 件)	
他部署との協力体制	縦割りが打破され、市としての課題・目的に対し協力・連携して取り組んでいる
新規採用職員などの OJT	新規採用職員等を育てる時間を十分にとることで、コミュニケーションの時間が確保でき、問題のきっかけやミスが減っている。
業務内容について	異動したばかりの職員の不安が解消できる仕組み
組織が課や部の枠にとらわれず	協力できる体制が作られている
市民が他市と比べて	誇れる組織となっている

2. 柔軟な働き方・ワーク・ライフバランス (WLB) に関する回答 (34 件)

回答は、①柔軟な勤務時間・勤務スタイル (15 件)、②休暇の取得しやすい職場 (7 件)、③残業削減 (6 件)、④仕事以外の活動の充実 (6 件) に分類された。

回答 (抜粋)

何が (市職員の働き方や職場・組織)	どうなっている (あなたが思う 10 年後の理想の状態)
①柔軟な勤務時間・勤務スタイル に関する回答 (15 件)	
業務時間	フレックスタイムやテレワークの導入
コアタイムなしのフレックスタイム制度・在宅ワークの導入	個々に合わせた勤務時間が選択でき、パソコンはデスクトップ型ではなくノート型が割り当てられ、在宅での勤務も可能になっている
副業やフレックス勤務について	勤務に対する基準が柔軟になり、子育て世帯等も働きやすい環境で、人材確保にも繋がっている
市職員	1 か月ごとの勤務日・勤務時間を自由に設定でき、よって、超過勤務という概念がなくなっている
働く場所	オフィス勤務とリモートワークが自由に選択できる環境になっている。(モバイルデバイスやネット環境の充実が不可欠)
働き方	時短勤務など、多様な働き方が導入され、様々な状況の人が働きやすい環境となっている。
職員のワークライフバランス	開庁時間を短縮することで、業務に集中できる時間を増やし、定時もしくは短い残業時間で帰宅できる環境になり、自宅での過ごし方が充実することで、仕事へのモチベーションも維持でき、業務効率化につながる好循環が生まれる。
ワークライフバランス	時差出勤の導入。例えば自分の勤務時間を 2 時間前にずらすことで妻との勤務時間をずらすことができ、家庭内の家事分担を行いやすくなり、自分の時間が増えて業務への意欲もわく。
②休暇の取得しやすい職場 に関する回答 (7 件)	
産休・育休補充が	適切に行われ、取得しやすい環境になっている。
有給休暇が消化できる職場環境の整備	有給休暇を積極的に取れる環境の確立されている

回答結果まとめ 設問 3

休日	週 3 回になっている
年休取得率	心身ともに健康で、時間に余裕がありと、建設的で効率的な考えができる状況になっている
制度	子育てをする職員には手厚い制度があるが、50 代世代には何もないため、自分の体をケアするための特別休暇がつけられている
③残業削減 に関する回答 (6 件)	
残業について	定時以降の業務は残業代が発生し、残る日は残る、残らない日は速やかに退勤する仕事の進め方をスタンダードにする。
業務に割く時間の割合	一つの課一つの係にとらわれず、横断的に業務連携を行い、全員が残業時間ゼロとなる。
職員一人あたりの業務負担を減らすこと。	デジタル化されて業務が効率化され、ワークライフバランスが整っている。
④仕事以外の活動の充実 に関する回答 (6 件)	
D X 推進により、勤務拘束時間が短縮される。	職員が勤務時間内に、ボランティアとして、コミュニティ創出や街の活性化といったまちづくり支援に市民との協同で参加している。
雇用の形	単業ではなく複業型になっており、副業など多様な働き方が当たり前になっている。
副業・兼業基準の緩和	それぞれの知識や技能を活かした自営（制作販売や講師等）から地域貢献ができる
副業（兼業）	業務終了後の自由時間を活用し、自身のスキルアップ（趣味含む）や地域貢献が推進されている。

3.DX・AI・業務効率化に関する回答 (33 件)

回答は、①DX・業務効率化（16 件）、②雑務の削減と重要事項への注力（15 件）、③その他（2 件）に分類された。

回答（抜粋）

何が（市職員の働き方や職場・組織）	どうなっている（あなたが思う 10 年後の理想の状態）
①DX・業務効率化 に関する回答 (15 件)	
内部事務の効率化	オンライン決裁が導入され、紙に印刷し回覧板を他部署まで回す手間がなくなり、資源も時間も削減できる
デジタル基盤と業務プロセス	紙・押印ゼロ、AI で定型業務を自動化し、行政サービスはワンストップ化している。
伝票処理・振込通知	電子決裁の導入を前提として、請求書等のオンライン化、振込通知の廃止によるコスト削減が図られている
電話対応	ある程度の電話内容であれば自動音声で、電話対応に割く時間を減らしていきたい。
文書やデータの整理	AI 等を活用し、職員が作成しなくても良くなっている
PC や業務システムなど	中途半端なシステムや機器の導入はせず、より効率的な業務が行えるようある程度の性能が確保されている
②雑務の削減と重要事項への注力 に関する回答 (15 件)	
紙によるやり取りや雑事（重要でない細かなルールによる仕事のやり直し等）に費やす時間が	撤廃され、生産的な仕事に集中できる
業務時間内の働き方	事務作業に多くの時間を割くのではなく、考える時間や、人と物事を調整する事に時間を割いて仕事をしたい。
業務量、業務時間、業務区分のスリム化	行政が行わなければならない事業・施策がより明確になっている
業務に割く時間の割合	雑務は自動化・効率化され、市民の声を聴き、真の課題に向き合う時間が増えている。（現在はルーチンワークが行える最低数の人員配置となっている課が多く、創造的な企画、新規事業の検討ができない状況にある）
重要事項に向き合う時間	雑務が効率化され、課題に向き合う時間が増えていることが理想
職員の役割	定型業務は AI に委ね、非定型の課題設定・合意形成・制度設計・リスク対応に注力できるようになっている。
専門業務	雑務が自動化・効率化され、人材が適材適所に配置されることで、専門職はその専門的な業務に専念できるようになっている

回答結果まとめ 設問 3

電子決裁の徹底	押印を求めることや紙への出力などの無駄を取り除き決裁内容に注力でき、判断材料としての添付書類は、サイズが自由になるだけでなく動画や音声なども添付可能で、過去の内容は電子的に整頓されていて都度参照可能であり、未来の決裁についても留意点・改善点を含めて作成できるもの。
---------	--

4. 窓口業務のあり方に関する回答（18 件）

回答は、①窓口利用者の満足度向上（9 件）、②オンラインによる効率化・開庁時間短縮（9 件）に分類された。

回答（抜粋）

何が（市職員の働き方や職場・組織）	どうなっている（あなたが思う 10 年後の理想の状態）
①窓口利用者の満足度向上 に関する回答（9 件）	
窓口の対応	職員一人一人が他部署の知識を習得することで、担当外だとしても適切に対応する部署に案内できる人材を増やしたい。
窓口対応	書かない窓口が主流となり、窓口対応の時間が短縮されている。
窓口対応	業務のオンライン化、キャッシュレス化の定着により、より親切・迅速・丁寧な対応ができています。
窓口対応	外国人向けの手続き案内資料や申請書などの記入例を作成できており、外国人が来庁した際のお客様の待ち時間が短縮できている
子ども関係部署が	同じ建物にいて、職員は連携の上支援を一体的に実施し市民は相談しやすい
窓口対応	AI を活用したナレッジ共有の仕組み。→職員が業務中に抱える疑問点を即座に解決できる環境を提供。
窓口の簡素化	窓口ではしごせず、用足が出来る
②オンラインによる効率化・開庁時間短縮 に関する回答（9 件）	
開庁時間の短縮や簡易な窓口業務の AI 化等による残業時間の減少	通常 1 5 時閉庁、水曜日は午前中のみ開庁などの開庁時間短縮、住民票等の発行はタッチパネル式の機械等を導入するなどの対応により、市民対応の時間を減らし、残務整理や職員のリフレッシュ休暇に充てる時間が確保できるようになっている。
窓口対応	オンライン化により来庁する市民が減り、開庁時間の短縮が行われ、窓口業務が多い担当者も就業時間内に他の業務も行うことができる
窓口業務	全ての手続きがオンライン化され、重要な課題に素早く対応できるようになる
手続き	手続きのオンライン化が進み、窓口業務の負担が減り、平日窓口に来ることができない市民が気軽に手続きできるようになる

5. 職場環境・コミュニケーションに関する回答（10 件）

回答は、①快適な職場環境（4 件）、②コミュニケーション改善（3 件）、③その他（3 件）に分類された。

回答（抜粋）

何が（市職員の働き方や職場・組織）	どうなっている（あなたが思う 10 年後の理想の状態）
①快適な職場環境 に関する回答（4 件）	
座席が	フリーアドレス
服装の自由	快適で働きやすい環境になる
執務室内の環境	オンライン化により紙出力が減少し、ファイルやロッカーが少なくなっている。
②コミュニケーション改善 に関する回答（3 件）	
コミュニケーション	課題等を共有することで職場環境を改善していく
会議の内容	議題は事前に周知され、その内容については双方向的に建設的な議論がされ、単一の結論ありきではなく、複数の有効な案が策定され、予算を含めた実現が図られるもの。

回答結果まとめ 設問3

設問3の回答を分野ごとにキーワードで表すと、下記のとおりとなった。

大分野	小分野	キーワード
1.組織運営・人事制度 (47 件)	①業務量の最適化・適切な組織編制 (20 件)	業務量の偏り是正、必要な人員の確保・配置、部課横断の取組、業務の外部委託推進、多様な人材の活用
	②適正な人事評価 (10 件)	適正な評価や処遇による意欲の向上、能力開発
	③意欲的にチャレンジできる職場 (9 件)	課題解決・業務改善に向けて主体的にチャレンジできる環境、若い職員の活躍、ボトムアップ、個人の能力・専門性が発揮できるキャリアパスの実現
	④チーム力と協力体制 (7 件)	部課の枠にとらわれず共通の目的に向けて連携できる組織、OJT や業務引継ぎの充実
2.柔軟な働き方・WLB (34 件)	①柔軟な勤務時間・勤務スタイル (15 件)	フレックス・時差出勤、テレワーク、開庁時間短縮、様々な状況の職員に合わせた働き方
	②休暇の取得しやすい職場 (7 件)	産休・育休が取りやすい職場（フォロー体制構築）、積極的な有給休暇取得、週休3日制
	③残業削減 (6 件)	業務効率化による残業削減、部門横断的な業務連携により残業ゼロを目指す、メリハリのある働き方とサービス残業撤廃
	④仕事以外の活動の充実 (6 件)	ボランティアや社会活動・地域貢献に割く時間の確保、副業や余暇を通じたスキルアップ
3.DX・AI・業務効率化 (33 件)	①DX・業務効率化 (16 件)	AI 活用、オンライン化・紙の廃止、電子決裁、電話対応の自動化等による業務効率化
	②雑務の削減と重要事項への注力 (15 件)	雑務削減により捻出した時間を生産的な活動（課題解決、企画立案、調整、市民対応等）へ注力
4.窓口業務のあり方 (18 件)	①窓口利用者の満足度向上 (9 件)	窓口利用者の時間短縮、親切な対応
	②オンラインによる効率化・開庁時間短縮 (9 件)	オンライン化による「行かなくて良い」市役所、開庁時間短縮、窓口業務に係る業務量削減
5.職場環境・コミュニケーション (10 件)	①快適な職場環境 (4 件)	フリーアドレス、紙やファイルの削減
	②コミュニケーション改善 (3 件)	コミュニケーション充実による課題の共有、生産的な会議の実施

◆設問 4 の回答結果まとめ

■設問 4. 【任意】

今後のまちづくりに生かすべき相馬市（市民・地域・市の組織・職員など）の特性・強みを挙げてください。（最大5つ）

（補足：設問の目的）

相馬市の特性について、職員の皆さんの意見を伺い、将来像検討にあたっての参考にするものです。

今後のまちづくりに生かすべき
相馬市（市民・地域・市の組織・職員など）の特性・強み

- ・相馬市（市民・地域・組織）の「特性・強み」はどんなものを問う設問。
- ・全体で 165 件の自由意見があった。
- ・回答を分野別に分類すると、「1. 自然・景観・気候（31 件）」「2. 産業・食・特産品（30 件）」「3. 都市基盤・交通・立地（30 件）」「4. 歴史・伝統・文化（29 件）」「5. 組織力・職員の専門性（23 件）」「6. 人的資源・地域コミュニティ（22 件）」となった。

1. 自然・景観・気候に関する回答（31 件）

回答は、①海と山に囲まれた自然環境（10 件）、②暮らしやすい気候（9 件）、③松川浦（8 件）、④観光資源（4 件）に分類された。

回答（抜粋）

今後のまちづくりに生かすべき相馬市（市民・地域・市の組織・職員など）の特性・強み
①海と山に囲まれた自然環境 に関する回答（10 件）
自然豊か、景観が素晴らしい
風光明媚
海も山も身近に感じることができる。
山、海、イベントなどいろいろなものがある
海とすてきな景色
お水がおいしい
②暮らしやすい気候 に関する回答（9 件）
穏やかな気候と冬の日照時間の長さ
一年を通して穏やかで過ごしやすい地域。
安定した気候。気温は高すぎず、積雪も最低限である。
他の地域と比べ比較的過ごしやすい気候
温暖な気候と豊かな農作物や海産物がある
温暖で、降雪量が少なく暮らしやすい気候。
③松川浦 に関する回答（8 件）
福島県唯一の潟湖、松川浦が強み。昨年の猪苗代湖と同様にラムサール条約に登録出来ればもっと広く周知集客できるのかなーと思う。また、浜の駅の客を誘導して松川浦、相馬港クルーズを企画したら集客できそう。
日本百景に選ばれた松川浦や国の無形民俗文化財である相馬野馬追や重要文化財である相馬中村神社や涼ヶ丘八幡神社など自然豊かで歴史ある市である
相馬市には海があるので松川浦や海岸線を生かした景観デザインを洗練すれば人が呼べると思う。車で海が見える駐車場があるといいかも。
松川浦、海水浴場、豊富な海産物など海とともに活きるまち
松川浦の自然
漁港や重要港湾、松川浦など、太平洋に面している恩恵といえる施設、産業、自然景観

④観光資源 に関する回答 (4 件)
観光業。海という資源を生かす。
観光資源が豊富(市民は気づいていない資源がある)
観光に特化できるロケーション

2.産業・食・特産品に関する回答 (30 件)

回答は、①水産業・海産物 (22 件)、②工業団地・経済 (4 件)、③農業 (4 件) に分類された。

回答 (抜粋)

今後のまちづくりに生かすべき相馬市 (市民・地域・市の組織・職員など) の特性・強み
①水産業・海産物 に関する回答 (22 件)
食。近隣自治体と比較しても、相馬市で食事をするイメージが強いと感じます。
水産業。ふくとらのブランド化は強みだと思います。
海産物が美味しい
水産などの観光資源
海も山もある。特に常磐物の海産物はニーズがある。
相馬の食アオサリや新鮮な海産物
近年、水揚げ量が増加しているらぶぐの活用し、取扱店舗の増加、安く提供できる仕組み
松川浦や漁港を核とした水産資源
海産物・農産物に恵まれた地域。
新鮮な魚介類が食べられる。浜の駅。
豊富な海産物
美味しい海の幸と山の幸がある
海。漁業については、水揚げされる魚種の種類も豊富。浜の駅で新鮮な魚を購入することもでき、観光客からの評価も高いと思う。
②工業団地・経済 に関する回答 (4 件)
相馬中核工業団地
地元企業の活力
近隣自治体のなかでは平均収入が高い
産業資源：工業団地・相馬港
③農業 に関する回答 (4 件)
農地集約の受け皿となる農業法人が複数存在すること。
農業。中通りや会津地方と比較して大きい田が多く、大規模な農業運営を行いやすい。
野菜やお米や果物もおいしい
漁業、農業が盛んであること

3.都市基盤・交通・立地に関する回答 (30 件)

回答は、①港・道路・立地 (23 件)、②スポーツ施設 (5 件)、③土地 (2 件) に分類された。

回答 (抜粋)

今後のまちづくりに生かすべき相馬市 (市民・地域・市の組織・職員など) の特性・強み
①港・道路・立地 に関する回答 (23 件)
仙台圏・中通り圏との位置関係・移動時間
高速道路・相馬港
仙台市、福島市からのアクセスの良さ
仙台経済圏が比較的近い
広域 (高速) 道路開設により、中通り、山形県へのアクセスが良くなった。
物流や交通の便が良いこと、例えば、海に接しており、港湾があること。常磐自動車道、相馬福島道のインターがあること。空港へのアクセスがよいこと。
福島復興再生特別措置法の区域に隣接し、国や県の支援が手厚い地区の通勤圏内に当たる。したがって、相馬市内に就労場所を確保せずとも、相馬市内に居住する人口増加を目指すことができる。
南東北における高規格幹線道路網 (東北中央自動車道と常磐道) と相馬港
インフラ。重要港湾をはじめ、高速道路網への接続がされている。
相馬福島道路や高速道路もあり、港湾もあるので地域のハブになれる環境にあると思います。
地域：高速道路、港湾があり、物流拠点としてのポテンシャルがある

回答結果まとめ 設問 4

東北中央自動車道と常磐線が交差する地点にある。インターチェンジ周辺に商業施設、子どもが遊べる施設、観光施設などがあると人が呼べると思う。遠くは水戸ナンバーもたまに走っている。また、震災後にできた海沿いの道路は仙台までほぼ信号がなく快適に通行できる。仙台からのドライブ、ツーリングの目的地、休憩地には一時間程度でちょうどよい位置にある。
②スポーツ施設 に関する回答（5 件）
スポーツ。パークゴルフ場、サッカー場の規模は強みだといえると思います。
スポーツができる設備がある。（ソフトボール場、サッカー場、二の丸球場、パークゴルフ場）
光陽パークゴルフ場や相馬こどもドーム、光陽サッカー場などスポーツ施設が整備されている
観光資源：光陽サッカー場・光陽パークゴルフ場・松川浦・海水浴場・和田観光いちご園
③土地 に関する回答（2 件）
津波被災跡地（沿岸部）の活用
広大な土地

4. 歴史・伝統・文化に関する回答（29 件）

回答は、①歴史・文化・城下町（15 件）、②相馬野馬追（14 件）に分類された。

回答（抜粋）

今後のまちづくりに生かすべき相馬市（市民・地域・市の組織・職員など）の特性・強み
①歴史・文化・城下町 に関する回答（15 件）
相馬盆唄や相馬流れ山などの全国的に有名な民謡が根付いている
中村城址に市内を眺められる展望場所を設置
地域性・・・中世以来の相馬氏の城下町 地域アイデンティティ
歴史を活かしたまちづくり
歴史に根ざした地に足のついた質実剛健な気風
歴史・文化・自然環境、日本各地にあるものすべてを持ち合わせている。
相馬中村藩の伝統、報徳仕法が息づいたシビックプライド、結束感
歴史資産や農水業（福とらや苺）が観光振興に繋がられる。
歴史的な建造物等がある。（中村城址、神社等）
全国まれに見る歴史深い土地だと思いますが、住民はさほどそう思っていない感じがします。
報徳仕法から受け継がれる精神を市民が受け継いでいる
国替えがなく守ってきたまちの歴史は市民の誇りであり、これを生かしてしていくべき
②相馬野馬追 に関する回答（14 件）
伝統文化の相馬野馬追が魅力
野馬追が誇り
相馬馬追いを始めとする歴史・文化による強いアイデンティティと結束
相馬野馬追や報徳仕法など歴史が根付くまち
野馬追や海などの観光資源
心躍る野馬追い
メインのお祭り（相馬野馬追い）がある

5. 組織力・職員の専門性に関する回答（23 件）

回答は、①職員の資質（10 件）、②小規模自治体ならではの一体感とスピード（5 件）、③災害対応（5 件）、④その他（3 件）に分類された。

回答（抜粋）

今後のまちづくりに生かすべき相馬市（市民・地域・市の組織・職員など）の特性・強み
①職員の資質 に関する回答（10 件）
市職員は基本的に勤勉
郷土愛のある職員が居る
大多数は課題に対し、同様な方向を向いていると考えている。または違う意見だとしても、決まった方針には同じ方向で仕事ができる人材が多いと考えている。
人と違う意見を言っても排除されない環境だと思います。言いやすい環境は醸成されていると考えています。
職員の行政サービスの高さ（市民との向き合い方）は上質と感じる。1 人で困っている人を見捨てない地域のあたたかさがある。
優秀な職員が多い
外部委託に頼ることが少ないので、市の職員は幅広く業務をこなす能力がある。

回答結果まとめ 設問 4

歴史に対し希薄であるため、古い物に固執せず、新しいことに挑戦することに対し、ハードルが低い
災害復興の経験から、柔軟かつ迅速に対応する行政体制
人員が限られる中で、幅広い業務に対応できる柔軟性がある
②小規模自治体ならではの一体感とスピード に関する回答 (5 件)
中規模自治体ならではの意思決定の速さ
人口が少ないので市民に対してきめ細やかなサービスができる
ちょうどいい自治体規模 (職員間で面識できる人数)
市の組織・職員：小さい組織なので、職員全員の顔と名前がわかる (一体感)
市の職員がお互い、ひととなりを知っている。
③災害対応 に関する回答 (5 件)
東日本大震災を経験した職員がいる間は、災害対応の迅速性・正確性が強みと言えます。
災害対応の迅速さ
職員：災害対応力が高い
災害時の対応の早さ (職員が何をすべきか身についている)
④その他 (3 件)
国土交通省とのパイプは強みです。
前例踏襲(変わること変えることに抵抗感がある)

6. 人的資源・地域コミュニティに関する回答 (22 件)

回答は、①コミュニティと人間性 (13 件)、②震災・災害の経験 (5 件)、③郷土愛 (2 件)、④その他 (2 件) に分類された。

回答 (抜粋)

今後のまちづくりに生かすべき相馬市 (市民・地域・市の組織・職員など) の特性・強み
①コミュニティと人間性 に関する回答 (13 件)
山間地区、平野地区、沿岸地区にそれぞれ住む人たちの考え方に特徴があり多様な考え方を持っている
地域コミュニティがしっかりしている
顔の見えるお付き合い
まとまりがある
地域住民同士の繋がりがつよい
ボランティアなど、行政に協力してくれそうな市民が多い
地域のつながりが強い。
忍耐強い
仲間意識が強い(よそものを受け入れることが苦手)
真面目で勤勉な人が多い
地域ごとのつながりが強い。
一次産業従事者 (水産業や農業) 同志のつながりが強い。
いい意味で田舎でのんびりしている
②震災・災害の経験 に関する回答 (5 件)
複数の災害に連続してあい、不便を経験したこと。例えば、断水、停電や食料の調達困難等。
防災意識が強い
東日本大震災を市民一丸で乗り越えた結束力
震災などのつらい体験をしてきた市なので、市民や職員はその分困難なことがあっても粘り強く取り組むことができると思う。
東日本大震災後の復興過程で、住民同士の支えあい強い
③郷土愛 に関する回答 (2 件)
市民の郷土愛。(野馬追の継承など)
平成に合併していないからこそ郷土愛
④その他 (2 件)
地域の風土に関心がなく、伝統や文化に関心が極めて低い、郷土愛は低い傾向がみられるため、移民などの受け入れも抵抗がない。
市民は市が発信する情報をしっかり見ていると感じる。また、周知が足りないものについては、周知が足りない意見をいただけるので、よりよい行政サービスへとつながっていきやすい。

回答結果まとめ 設問 4

設問 4 の回答を分野ごとにキーワードで表すと、下記のとおりとなった。

大分野	小分野	キーワード
1. 自然・景観・気候 (31 件)	① 海と山に囲まれた自然環境 (10 件)	豊かな自然、海も山も身近に感じる環境、風光明媚、水がおいしい
	② 暮らしやすい気候 (9 件)	一年を通して穏やか・安定した気候、温暖な気候、冬場の降雪が少ない・日照時間が長い、過ごしやすい
	③ 松川浦 (8 件)	福島県唯一の潟湖、豊かな生態系を持つ貴重な湿地、日本百景、海岸線の景観（大洲松川線）
	④ 観光資源 (4 件)	海を中心とした観光資源
2. 産業・食・特産品 (30 件)	① 水産業・海産物 (22 件)	常磐物の海産物、豊富な魚種、「福とら」、アオサノリ、浜の駅
	② 工業団地・経済 (4 件)	中核工業団地、企業活力・経済力
	③ 農業 (4 件)	農業法人、水田、お米、果物
3. 都市基盤・交通・立地 (30 件)	① 港・道路・立地 (23 件)	重要港湾相馬港、相馬福島道路、常磐自動車道、高速道路の結節点、仙台経済圏・福島市方面へのアクセス、福島復興再生特措法の区域に隣接
	② スポーツ施設 (5 件)	光陽サッカー場、ソフトボール場、パークゴルフ場、ビーチバレーコート、海水浴場、相馬子どもドーム
	③ 土地 (2 件)	利用可能な広い土地
4. 歴史・伝統・文化 (29 件)	① 歴史・文化・城下町 (15 件)	相馬中村藩、報徳仕法、中村城跡、城下町、シビックプライド、相馬盆歌、相馬流れ山
	② 相馬野馬追 (14 件)	相馬野馬追、歴史・伝統
5. 組織力・職員の専門性 (23 件)	① 職員の資質 (10 件)	意見の言いやすさ、柔軟性、幅広い対応能力、郷土愛、市民対応
	② 小規模自治体ならではの一体感とスピード (5 件)	意思決定の速さ、一体感、きめ細やかな対応
	③ 災害対応 (5 件)	災害対応力、迅速な対応
	④ その他 (3 件)	国交省とのパイプ
6. 人的資源・地域コミュニティ (22 件)	① コミュニティと人間性 (13 件)	地域のつながりが良い、多様な考え方、行政に協力的な市民、忍耐強く・まじめで勤勉な市民性、いい意味でのんびり
	② 震災・災害の経験 (5 件)	震災や複数の災害を乗り越えた経験、結束力、市民一丸、支え合いの強さ、防災意識
	③ 郷土愛 (2 件)	郷土愛、平成の大合併をしなかったこと

◆設問 5 の回答結果まとめ

■設問 5. 【任意】

あなたが政策立案者として、相馬市で実施してみたいと思う政策と、その期待される効果について提案してください。(最大3つ)

(補足：設問の目的)

新マスタープランに掲載する新規事業や施策の方向性について、アイデアを募集するものです。
高い効果が期待されるものは、掲載に向けて前向きに検討します。

実施してみたい政策のアイデア
(大まかな方向性のみでも構いません)

期待される効果

- ・政策のアイデアを募る設問。
- ・全体で 102 件の自由意見があった。
- ・回答を分野別に分類すると、「1. 産業・雇用・起業支援 (15 件)」「2. 観光・交流・スポーツ (25 件)」「3. 子育て・若者・教育 (22 件)」「4. DX・データ活用・行政運営 (16 件)」「5. 都市計画・交通・住環境 (11 件)」「6. 食・特産品・ブランド化 (8 件)」「7. 農林水産・環境・エネルギー (5 件)」となった。

1. 産業・雇用・起業支援に関する回答 (15 件)

回答 (全件)

No	実施してみたい政策のアイデア	期待される効果
1	商業施設の誘致	市内の活性化
2	企業誘致	人口の維持
3	仙台圏・中通り圏への配送・輸送の拠点化	遊休地の活用、創出創出
4	相馬市に移住して新たに事業を起こす方への補助	移住者が増えることでまちに賑わいができる 被災 10 市町村と同等の補助とすることで、「浜通り」に移住したい方の候補地となり得る
5	他業種など、多様な属性をもった人々をマッチングし、想定外の組み合わせによる新たな商品・サービスの開発	それぞれの方々がもつ「強み」を、ランダムに組み合わせることで、これまでにない新たなアイデアの発生が期待できる。また、あらかじめ「相馬市の人」に限定しておくことで、その新たなアイデアは相馬市で実現できるものになる。
6	とにかく企業誘致。係ではなく、室や課を作ってもいいレベルだと。	雇用が増えることで全てがポジティブに。
7	企業誘致のさらなる推進	税収増
8	相馬 IC 周辺へロジスティクス誘致	雇用創出、税収増加、企業進出
9	企業にもっとアピールして企業誘致したい	職場があることで人口が増える
10	ワーケーションの導入促進 都心部の企業と連携し、田舎ならではのテレワークなどで静かに働けるプラン・場所を提供する。	都会に住んでいる方に相馬市を知ってもらおう。 都心部の企業とのつながりを生み、その後の企業誘致や移住などにつなげる。 場所は空き家などを有効活用できれば、空き家問題解消の一助になるのでは。
11	女性が働ける企業 (アパレルなど) の誘致	移住や I ターンが増加
12	起業したい人を呼び込み、場所の提供(空き店舗を市が買い上げて貸し出す等)や支援を今まで以上に積極的に行う または、Next Commons Lab のような起業をサポートする団体を相馬に呼び込む	・市に新たなお店が生まれる ・空き家となった店舗が減る ・新しい名物が生まれる可能性がある ・会社が大きくなることができれば就職先が増える

回答結果まとめ 設問 5

13	起業家や個人事業主、中小企業等に対する相談窓口の設置	市内で事業を営まれている方々（起業したいという方々）と市役所が関わる機会は、現状あまり多くはないように感じています。 起業のための総合的な支援や経営上の問題解決に対する包括的な相談窓口があれば、地域産業の活性化につながると思います。 また、そういった方々と接点をもつことで、市としても市内の経済状況等を把握することができたり、新たなアイデアを得ることもできると思うので、地域活性化のための効果的な改善策を検討する材料にもなるのではないかと思います。
14	コワーキングスペースの設置	これからフリーランスで田舎暮らしをしたいと考えている人に、ネットが繋がり、居心地よく仕事ができる空間を提供できれば、相馬市を選ぶきっかけになると思います。 また、他の事業者との接点から新たな仕事に繋がる可能性もあると思うので、地域活性化の拠点になれる可能性もあると思います。
15	Uターン者を対象とした就職相談会・企業見学会	現状、大学進学後そのまま相馬を離れてしまう方が多いですが、「相馬でいい仕事があるなら、卒業後は帰りたい」「何年か働いたが、今の仕事を辞めて、地元に戻りたい」と考えている方は一定数いると思うので、そこに向けた情報提供の機会（イベントか、個別相談のようなもの）を増やし、相馬市の良さをアピールできれば、相馬市内の企業の人材の確保につながると思います。

2. 観光・交流・スポーツに関する回答（25 件）

回答（全件）

No	実施してみたい政策のアイデア	期待される効果
16	沿岸部にこども公園のほか、カフェ等商業施設を併設したドックランを作る。	近隣市町村へ流れている愛犬家を引き込むことで、交流人口の増加。周辺施設への人の流れを作る。
17	馬陵公園の桜の木の植え替え	馬陵公園は桜祭りが開催されるなど桜の観光名所ですが、ほとんどが老木です。史跡関係で難しいと思いますが、できたらいいと思います。
18	道の駅の移設	向陽中南側の国道 115 号バイパスに道の駅があるといいなと感じています。高速道路、国道 6 号に接続が容易で、浜の駅などの沿岸部にも行きやすく、利用しやすい場所だと思います。圃場整備をいた農用地で農地法上の制限があり難しいと思いますが効果は大きいと感じています。
19	松川浦のリゾート化	観光客からの注目
20	光陽グラウンドに、フットサルやバレー、バスケなどできる体育館をつくり、リサイクルセンターの熱を使つての温水プールなど、スポーツのできる環境を整備する。そして食事のできる施設、お土産買える施設、旅館業と連携して宿泊してもらうようにプランをたてる。	お客さんが増えて活気があふれ、相馬市にまた来たいと思ってもらえるようにしたい
21	観光資源の掘り起こし	相馬の魅力を発信し、交流人口を拡大する
22	郷土蔵にカフェ機能追加 昔の道具の展示は維持しつつ、古民家カフェ風の喫茶・軽食コーナーを追加する。 カフェの運営は指定管理制度を活用する。	郷土蔵の利活用促進 まちなかに人が集まれる拠点ができる 地元の若者が立ち寄れるスペースができる
23	港湾を活用した政策。 港湾を観光資源として活用。例えばクルーズ船の誘致やオープンカフェのほか、神戸の赤レンガ倉庫を目標、マリンスポーツの誘致。 港湾を基盤とした新しい産業の創出。例えば、海洋資源の研究拠点。	観光客数の増加に伴い、地域経済への波及。また、新しい産業による地域発展。

回答結果まとめ 設問 5

24	野馬追のお祭り化	野馬追観光客が行列終了後も滞在できる環境を作ることで、市の賑わいや商業者の収入増につながる。 神事なのはいいことだが、もっと有効活用できるようにしなければすべて南相馬市にとられてしまうと思います。 今の野馬追は相馬市のお祭りではなく南相馬市のお祭りです。
25	公式試合の出来る野球場の建設	プロ野球が来るような施設が出来れば 各地から人を呼び寄せることが出来、観光地松川などの宿も潤い市の活性化が計れる。
26	城下町の景観を生かした「街ごとホテル」の実施	・近年では、「ホカンス」という言葉のあるとおり、宿泊施設（ホテル、旅館）を目的とした旅行が増加しているように感じる。 ・大阪府東大阪市の商店街では、空き店舗などをリノベーションして宿泊施設とし、食事や風呂（銭湯）などを商店街の中で楽しんでもらうというセカイホテルがある。 ・相馬市の中心街は景観を統一しており「城下町らしさ」が味わえるため、セカイホテルのような取り組みは相性が良いのではと考える。 ・商店街まるごとホテルができることで、観光客も増え、商店街も活気があふれるのではないかと考える。
27	原釜など防災集団移転事業で買収し、更地となっている相馬市所有地にキャンプ場やドックラン、乗馬体験などを誘致する。	相馬市所有地を借地させ、税収を上げることと近隣にない施設を誘致することで交流が図れる。
28	相馬の歴史の発信。VR での相馬中村城と城下町の様子、神社仏閣の展示・発信。	相馬の知名度・関心度の UP。観光客の誘致。
29	フィルムコミッション	
30	南相馬市のゆめはつのように、コンサートや他の催しものを増やし、市民会館を有効利用するべきだと思います。綺麗な市民会館を使わないのはもったいないです。	人が集まり、地元にお金を落としてくれます。
31	1 スケートボード、アグレッシブインライスケート、BMX などの公設パーク（日本最大規模）を建設。 2 塩手山周辺に公設ダートトラックの運営。 3 1・2 などエクストリーム系のスポーツに伴い、若者が求めるショップの開設。 すでに、市内における野球やサッカーなどスポーツにおける競技人口は減少しており、パークゴルフも高齢化で先がない。	若者の流入
32	SNS 映えする景観をつくり人を呼ぶ。（ひたち海浜公園のネモフィラや福島市の花見山的な）	四季を通じて人が訪れ道路を生かした集客が期待できる。管理コストは気になる。
33	道の駅や鎮魂記念館などは、オープン当初こそ多くの人で賑わっていたものの、現在では寂しい状況 何事も一番乗りで建設すれば良いというわけではなく、成功している他の施設を参考にし、工夫を凝らすことが重要	
34	豪華客船を相馬港にとめて、観光や食事を楽しんでもらう	相馬にお金がおちるとともに新たな交流が生まれる
35	クラウドファンディングの活用 観光に係るイベントの費用や市の設備投資について、市外から資金をつくる。 クラウドファンディングに応じてくれた方に、相馬市に関連するものをお礼としておく。	財源がない中で、新たな施策をするための財源を確保する。 クラウドファンディングを通して、相馬市のイベントや各種支援制度を PR できる。
36	浜の駅周辺にカフェやレストランを建設	観光客の増加
37	スポーツによる交流人口の拡大として、尾浜ビーチバレーコートを中心とした大規模大会の誘致 以前、実際にビーチバレーボールの全国大会に参加しましたが、こんなに良いコートはなかなかありません。 尾浜海水浴場のシャワーやトイレ、駐車場の整備・増設や青少年自然の家のような宿泊施設や駅からのシャトルバスもあったら、大会参加する人としたらうれしいです。	大規模大会での人口交流による経済効果

回答結果まとめ 設問 5

38	潮干狩り場を震災前の状態に復旧させ、相馬市の観光スポットを増やす	観光客が増加する・・・県内で唯一の有料で子供にも安全に体験できる場所を作ることができれば、子供と遊べる場所がほしい親達が多く観光に来てくれそう 周辺のお店や宿泊施設を利用する人が増える・・・震災前の潮干狩り場の周辺に近年飲食店や浜焼きなどが増えてきたため、復活できれば観光客がより楽しめそう。浜の駅利用者もさらに増えそう
39	Jリーグの春夏制移行に伴う合宿誘致（光陽サッカー場の利活用） 2026-2027 シーズンから、Jリーグの開幕時期が8月開幕・翌6月閉幕となる。 そのため、6月～7月（オフシーズン）に、次のシーズン（8月開幕）に向けての合宿を開催するため、その誘致活動の実施 ※夏場は関西に比べれば、気温が低いことを利点に誘致活動を図る ※参考：Jリーグチーム数 計60チーム（J1：20チーム、J2：20チーム、J3：20チーム）	1チームあたりスタッフ含めて50程度（推計）が宿泊することになるため、旅館業への貢献（市内経済の活性化） 合宿に伴う観光客の増（練習見学による）
40	No.39に併せ、ビーチサッカー場の整備	No.39と同じ効果

3.子育て・若者・教育に関する回答（22件）

回答（全件）

No	実施してみたい政策のアイデア	期待される効果
41	仙台への通学を行っている学生に対しての通学費の補助	通学は市外でも相馬市に住むことで市内でお金を使う。（税収アップ） Uターンという概念ではなくなるので地元就職に違和感ない。
42	大型ショッピングモールの誘致や有名店の誘致	若者が週末仙台に行くしかない状況を改善したい。住む町に憩いの場がないがために、都市部へ流出し、都市部への就職が選択肢になる悪循環になっている。自分の町を好きになってもらうために、滞留させる必要がある。
43	国道沿いへのカフェや、本屋など若者向けのショップの建設。	町の賑わいが期待される。
44	商店街のモール化	中小企業の進出が期待される。
45	水産業を生かしたバーベキュー施設 ビアガーデンなど 若い人とかが集まれる遊ぶ場所がないから	
46	若い女性が働きやすい or 若い女性が活躍しやすい企業の誘致	若い女性が増える・流出を減らす事ができれば、相馬市の人口が増えるのではないかな
47	金銭面での子育て支援	人口増加
48	娯楽施設や大学の誘致	人口増加
49	義務教育課程での郷土教育の実施。（相馬市の伝統と文化を説明できる人材育成） 相馬野馬追いがある程度説明できる人材の育成。相馬市の漁獲量や、米の生産量、作っている作物を説明できる人材育成など。 そもそも相馬市に住んでいて相馬市のことを知らない人が多いと思います。	郷土愛の醸成。郷土愛がない人材は住みやすいところ（効率が良い大都会等）に住むと考えています。 郷土愛があれば、相馬を知らない他人に熱意を持って説明する人材が増え、微々たるものですが交流人口の増加があるのかなと思っています。
50	各種委員会やイベント等の委員などに、高校生を採用すること	高校生を採用することで、相馬市に何が足りないのか、これからの若者がどのような意見をもっているのか、知ることができる。
51	大学の誘致	若者の流入が期待でき、活性化につながる。
52	学生（中・高校生）が企画するイベントの開催。	地元学生が自主的に企画することにより、市民ニーズにあったイベントになる可能性あり。

回答結果まとめ 設問 5

53	南相馬市で「地域社会全体でこども・子育てを応援する」という基本理念のもと、令和4年度より実施している「18歳巣立ち応援事業」で、新たな門出に立つ18歳の皆さんにエールを送るとともに、18歳になる市民を対象に祝い金5万円を支給する南相馬市独自の制度。『さあ、行っといで。』という想いを込めた、応援メッセージポスターも素敵だし、本人宛に届く手紙がまた感動する。役所のお決まりの封筒ではなく、「さあ、行っといで。」と書かれた素敵な封筒に親が見たら泣けるお手紙が、今の相馬市では、このおしゃれな事業は考えつかないし出来ないだろう。	こういう素敵なことが出来る市に、いつかは帰ろうという若者もいるかもしれない。
54	「歴史」と「教育」の融合 ・会津藩の「仕の掟」（藩士の子弟を「仕」というグループに分けて教育…「ならぬものはならぬ」に代表される）は現代の会津若松市において「あいづっこ宣言」などに再構築され、学校教育への組み込み等で活用されています。また、薩摩藩の「郷中教育」（地域の子供たちが「郷中」というグループを形成し、年長者が年少者を指導する…「人格形成」）は制度としてそのまま残されているわけではありませんが、人材育成や地域教育などに思想として根付いていると聞いたことがあります。 ・相馬中村藩も「報徳仕法」がありますが、残念ながら、これが教育として根付いているとは感じられません。これからの子供たちは次代の相馬市を担います。人材育成や学校教育に「報徳仕法」の訓えを取り入れることが重要だと思います。	
55	相馬出身の若者（40代前半くらいまで）がUターンした際、市外に通勤する場合の交通費補助（勤務先から通勤手当があっても補助する）	市内に雇用先があっても市内に住んでもらえなかったら税収は上がらないので、市内での雇用の確保よりも、市内に住んでもらう施策を展開する。
56	高校生とのまちづくり協議会のようなものを定期的に開く。	相馬市を盛り上げるアイデアを若者と大人（企業）、市役所が一緒に考え、実践することで、自分事として、どんな相馬市にしたいかを考える機会となる。考えるだけでなく、実践するところまで取り組むことを目指す。いいアイデアであればチャレンジしてみる、失敗も許容するスタンスとすることが重要。こうした活動が相馬市への愛着にもつながるのではないかと考える。進学等で相馬市を離れたとしても、就職や転職の際に愛着をもっている相馬市に戻りたいと考える人が増えるかもしれない。まちづくりは、市役所や大人だけでやることではない。
57	特性を生かした専門分野への教育	何かしらの専門に特化した人材が増えることで就職への近道となる
58	市長と市外に進学・就職した相馬市出身の若者との対話の機会をつくる。	外部にいる若者の視点をまちづくりに活かすためのきっかけづくり。 市外へ流出した若者が相馬市に戻ってくるためのきっかけづくり。
59	大学（相馬キャンパス）の設置	若者の人口増加
60	各年代、特に小中学生や高校生からアイデアを募り、若い世代が興味のあるイベント等を開催する。また、イベント開催の際は障がいのある方にも配慮した会場案内看板等の設置をするよう心掛ける。	小中学生、高校生も一人の主権者であり、相馬市をより良く、住みたいと思える市にするにはどうすれば良いかを一緒に考えてもらおう。そうすることで相馬市に関心を持つきっかけをつくり、若者が興味があるイベントを開催することで交流人口の拡大を図ることができる。
61	若い世代の人に向けたSNS等を利用した情報発信	若い世代が相馬市に興味を持ち、足を運ぶきっかけとなる。
62	先端教育を受けることができる大学の誘致	学力向上。人口増加。新たな産業創出。

4.DX・データ活用・行政運営に関する回答（16 件）

回答（全件）

No	実施してみたい政策のアイデア	期待される効果
63	外部の目で見て相馬市の今後の進むべき道を提案してもらう（コンサルタントをいれる）	相馬市が方向性を決めてほしい。職員や議員だけでなく外から見た相馬市を教えてほしい。 相馬市がどう思われているかを認識できる。 アンケートを見ると相馬市帰ってきたら街が死んでいるというコメントがたくさんある。 働いていてもなにを目指しているのか少しわからない。
64	（他の自治体の先行指標となるような）徹底的に無駄を省いた行政運営。機能美。	行政の効率化、財政の健全化、本当に必要なところへの政策的な注力。
65	AI の業務活用強化	市民サービスの向上や業務の効率化が図られる。
66	市町村合併。 小規模自治体である亘理町（約 32,000 人）、山元町（約 11,000 人）、新地町（約 7,000 人）と相馬市（約 32,000 人）を合わせた合併。 4 年後または 8 年後（市長任期の範囲内）の合併を見据え、対象自治体との人事交流から開始する。また、地方自治について学ぶため総務省への出向を行う。	人口に応じた行政サービスを提供する。 人員の集中や施設の統廃合を図る。
67	24 時間の市民問い合わせチャットや音声ボット（電話でも利用可）を導入し、必要時は人につなぐ仕組み おくやみコーナーのオンライン化	窓口来庁件数・滞在時間の削減 定型処理の削減 給付漏れや手続きミスの減少、満足度向上 少人数体制でもサービス水準を維持
68	電子決裁・ペーパーレスの導入	回覧の待機時間の解消による意思決定のスピードアップ（庁内にいなくても決裁可能に・誰で留まっているかも可視化される） 消耗品費・保管コストの削減 過去の文書へのアクセスが容易になる
69	新規事業を行うための現事業の整理	現事業を整理することで、余力が生じ新規事業を行える
70	公立相馬総合病院の民間化	財政的な負担を減らすことができる
71	施設利用料金の増額、パークゴルフ場は 1,000 円がいい。スポーツ施設の使用料は増やすべきだと思います。	歳入が増える
72	公立病院の廃止、縮小	費用対効果の最大化、新たな施策に対する財源捻出
73	学校統廃合、振興ビル・卸売市場廃止	費用対効果の最大化、新たな施策に対する財源捻出
74	隣接自治体との共同発注	コスト削減
75	ふるさと納税の全額を出品者に循環	地域経済活性化
76	AI ナレッジベースシステムの導入 業務関連の知識や手順を一元管理する「AI ナレッジベース」を構築。職員の質問に対して、過去のデータや課内資料・FAQ をもとに瞬時に回答する仕組みを提供	業務効率化・従業員満足・情報の一元化といった多方面での効果の期待。職員が疑問点で立ち止まる時間を短縮し、迅速に業務を進めることができる。
77	データを活用した継続的な市の現状把握と課題の設定。 国の統計データや分析システム（RESAS や RAIDA）を活用し、多角的に、毎年度定期的に分析を実施し、現状の把握と、課題認識を庁内で共有する仕組みを作る。類似規模の自治体や県内他市とのベンチマークも実施する。	客観的数値をもとに、市の現状を全庁で共有することで、課題認識を持つことができる。
78	AI（NotebookLM）の活用（業務への正式採用）	ChatGPT とは全く異なり、庁内資料に基づき、要約、分析、判断、成果物の作成が行えることから、生産性が大幅に向上する。

5. 都市計画・交通・住環境に関する回答 (11 件)

回答 (全件)

No	実施してみたい政策のアイデア	期待される効果
79	相馬港、相馬インター、国道道、大きな市道周辺の農地開発への柔軟な対応	幹線道路が盛り上がっていると発展している感じ。特にインター周りと海周辺は緩和すべき。
80	駅東口の整備。総合高校、法務局、幹線道路を考慮すると相当な効果があると感じます。	総合高校へ通う生徒の増加 駅の利用率上昇 常磐線利用者の利便性向上 (沿岸部の誘導がスムーズ)
81	地域からの道路整備要望箇所の施工	生活環境の充実
82	ボランティアの大幅な活用	財政状況の改善
83	空家の利活用。 結婚のマッチングサービスのようなものとあわせて住宅の提供も検討する。 マッチングサービスを利用し、結婚した夫婦に対する複合的なサービス提供。 子育て支援等もあわせて提供を検討。	定住者を増やす
84	中心市街地の整備 (集約化)	居住区と商業区がわかれることで、居住区では過ごしやすく、商業区には活気生まれる
85	コンパクトシティ	費用対効果の最大化、新たな施策に対する財源捻出
86	中心市街地への人口集約	コンパクトシティ化
87	定額タクシー (自宅と決められた乗降場所との間で利用)	バスなどの交通機関が利用しにくい地域の市民の生活をサポート
88	相馬市における大幅な土地利用計画の見直しを行い、面的な整備や、面的なテーマによるゾーニングを行い市内各地をテーマに沿った開発を行い活性化を生む。	市民アンケートでは、声の多くが商業施設への関心が高い。そのため土地利用の計画を見直し、規制緩和なども考え実施し市街地及び市街地以外にも開発を誘発させ、活性化を行う。賑わいなどによる人口流出の減少、開発による固定資産増、観光客の増。活性化が生まれる事で工場などの誘致もさらに活性化する効果を期待したい。
89	相馬インターから相馬警察署までの道路脇の開発誘発	観光客の多くは、中通り方面からくる可能性も高く、今やこの区間は相馬市の玄関口で、交通量もかなり多い。 この区間をとり相馬市のイメージを持つ人も多いと思う。

6. 食・特産品・ブランド化に関する回答 (8 件)

回答 (全件)

No	実施してみたい政策のアイデア	期待される効果
90	ふるさと納税で、1～3万円程度の低価格で一般家庭向けの商品を作る。	納税母数拡大による市の税収増加
91	海産物の県外国外販売。 東京都清瀬市のレトルトカレーのように、相馬産食材一定期間の保存が可能な方法を検討し県外国外販売を検討する。	相馬市の海産物の知名度上昇。
92	ご当地グルメの開発	相馬の食材を活かし食の魅力をつくりだすことで交流人口を拡大する
93	市のキャラクターを作成し、グッズ販売する。	人気のでそうなキャラクターを作成し、グッズ販売により収入を得る。
94	地域ブランド作成に対する支援	相馬市の目玉となるような製品ができることで、市を PR しやすい状況が作れる
95	地元の若年層からの SNS を活用した情報発信 (相馬市の魅力など)	・若年層目線での相馬市の魅力発信ができる ・地元インフルエンサーの育成が期待できる
96	ターゲット層 (ペルソナ) を意識した SNS・web による情報発信の強化	Instagram は、若者を中心に web 検索以上に情報収集の主流になっている。 効果的・効率的な情報発信をすることで、事業効果を高めることができる。 場合によっては予算を確保しインフルエンサーを有効に活用することで、より効果的な PR ができる。

回答結果まとめ 設問 5

97	相馬市の映えスポットや相馬市の飲食店のおすすめメニューなどの TikTok、X などでの情報発信	相馬市内の美味しいもの(見た目、味良し)、おしゃれな飲食店、写真映えする綺麗な場所などの画像を TikTok や X、SNS など配信し、相馬市の魅力を再発見してもらう。
----	--	---

7. 農林水産・環境・エネルギーに関する回答 (5 件)

回答 (全件)

No	実施してみたい政策のアイデア	期待される効果
98	農地や森林の再開発	新たな土地利用の可能性と固定資産税の増収
99	核処理施設の誘致	財源の確保が期待できる。
100	福島第一原子力発電所廃炉作業に関連した産業の創出。 例えば、高レベル放射性廃棄物の最終処分場として立候補し、関連する産業を誘致する。	新しい産業による地域発展。
101	工業団地の整備、磯部にある太陽光パネルの土地を、工業団地として再整備できないか。 または、石炭灰の埋め立て処分場として活用できないか。今後、10 年間で売電の期間も終了し、土地の有効活用を考えておくべきかなと	当該、太陽光パネルが設置されている土地には相馬市の土地も含まれていると思いますので、お金を生み出す土地として期待できます。
102	市が運営する農業法人の設立。	農業従事者は年々減少しており、耕作放棄地が増えている。 一般の耕作者は条件が良い農地を耕作し、条件の悪い農地は市が運営する農業法人が赤字覚悟で行う。 農業法人は市を退職して年金を受給するまでの再任用職員が行う。 耕作放棄は減り、農業振興に繋がる。

◆設問 6 の回答結果まとめ

■設問 6. 【必須】

あなたが描く相馬市の「理想の将来像」はどのようなまちでしょうか。

(補足：設問の目的)

新マスタープランに掲載する本市の「将来像」のヒントとなるキーワードを伺うものです。

あなたが描く相馬市の「理想の将来像」(キーワードのみでも可)

例 1) 市民が笑顔で暮らせるまち

例 2) 安心・安全なまち

例 3) 笑顔(キーワードのみでも可)

- ・相馬市の「理想の将来像」はどんなものかを問う設問。
- ・全体で 100 件の意見があった。
- ・回答を分野別に分類すると、「1. 安心・安全・防災 (9 件)」「2. 活気・産業・経済 (14 件)」「3. 若者・子育て・教育 (16 件)」「4. 歴史・文化・自然・魅力 (8 件)」「5. 持続可能性・行政運営 (11 件)」「6. 市民生活・幸福・共生 (42 件)」となった。

回答 (全件)

No	あなたが描く相馬市の「理想の将来像」
1. 安心・安全・防災 に関する回答 (9 件)	
1	日常が継続するまち
2	市民が笑顔で暮らせる安心・安全なまち
3	市民が安心して暮らせる
4	安全で安心して暮らせる住みやすいまち
5	①市民が笑顔で暮らせまち、②安心・安全なまち
6	安心・安全 活気あるまち 互いに尊重しあうやさしいまち
7	自助、共助と公助の適正なバランスでの安心・安全なまち
8	安心なまち 住みやすいまち
9	市民が安心安全に暮らせるまち
2. 活気・産業・経済 に関する回答 (14 件)	
10	1. わくわく 2. 活気 3. 安心
11	イベントがあるといい
12	活気ある相馬
13	日々観光客がきて、みんなが笑顔で暮らせるまち
14	農業振興
15	潤い(経済的に)
16	「港湾都市」「貿易都市」「東の敦賀港」
17	人がいっぱい集まり活気ある観光地。
18	雇用が増える
19	水産物で観光客を呼び込む
20	お金を使えるまち
21	訪れたいまち
22	活気あふれる
23	いつまでも活気を感じるまちであってほしい

3.若者・子育て・教育 に関する回答 (16 件)	
24	子育て世代が楽しく過ごしている町
25	子どもの声、笑顔あふれる元気なまち
26	若者であふれるまち
27	地元で就職し子育て出来るのまち
28	若者が集まる街
29	安心して出産、育児できるまち
30	子育てしやすいまち
31	若者が集まれる住み良い環境
32	街中が若者で賑わっている、素敵な公園で多くのこども達が笑顔で遊んでいる
33	人が育ち、人が戻り、人がチャレンジする「まち」
34	子育てがしやすいまち
35	活気のあるまち こどもを育てたいまち 楽しいまち
36	定住したいまち 子育てから老後まで
37	子どもたちの笑い声が聞こえてくるまち
38	若者が住みよい街
39	自分の子供が、大人になった際に、帰ってきたいと思える市
4.歴史・文化・自然・魅力 に関する回答 (8 件)	
40	豊かな自然と歴史にあふれた快適なまち
41	豊かな海
42	歴史と未来をまもるまち。
43	文化、歴史、伝統を重んじるまち
44	3つの「うま」『食べ物がうまい(農水産物)、歌がうまい(相馬民謡)、みんながうまいくまち相馬』
45	相馬市にしかない魅力を共有し、発信できるまち
46	自然豊か、歴史が根付く、おもてなしの心、復興の絆
47	次世代へつなぐまち
5.持続可能性・行政運営 に関する回答 (11 件)	
48	「相馬市が相馬市であり続けるまち」、前と同じですが大事な事だと思います。
49	存続
50	1) 若者の定着 2) 100年後も自治体として存続
51	未来へ住み続けられる街
52	人口が微増傾向となること。
53	持続可能 ・ 自分事
54	将来にわたって残していきたい
55	人口減少・高齢化社会に対応し軟着陸する
56	安定した地方都市
57	健全な財政運営。
58	人口が最低限今と同じくらいのまち
6.市民生活・幸福・共生 に関する回答 (42 件)	
59	公平・競争・平等
60	誰もがここに住みたい、来たいと思える街
61	豊かなまち
62	心豊かに安心して暮らせるまち
63	市民が笑顔で暮らせるまち
64	市民が楽しく働けるまち
65	自然と遊べるまち、笑顔あふれるまち
66	平日も休日でも市内で過ごせるまち（就職先や家族で休日楽しめる場所が市内にないことが問題）
67	至誠
68	休日に過ごせる街
69	子供も高齢者も住みやすいまち
70	人が賑わい、老人に優しい

回答結果まとめ 設問 6

71	大人も子供も安心して暮らせる、豊かな街
72	楽しい町
73	ストレスがすくないまち
74	協働で守り、育む町
75	不自由なく過ごせるまち
76	市民が笑顔で暮らせる町
77	大人から子供までが集まれる場所があり、明るい相馬市でありたい
78	市民が相馬住んでいることを誇り思えるまち
79	信頼
80	自然と生活機能が両立した住みやすいまち
81	グローカル（グローバル＋ローカル）
82	住民が生き活きと生活できるまち
83	住民に公平なまち
84	ここで暮らしたいと思えるまち
85	近くのどこよりも「ちょっとだけ」いいところ。
86	市外に行かなくても良い街になってほしい
87	一生を紡げるまち
88	今に幸せを感じ、これからも住み続けたいまち
89	誰にとっても魅力あるまちづくり
90	住み続けられるまち おもしろいまち 注目のまち 行きたいまち うらやましいまち
91	暮らしやすい、幅広い世代が安心して暮らせる
92	穏やかに暮らせるまち、散歩してたのしい街。
93	みんなが同じ方向を向いて市を盛り上げる
94	市民が一生住みたいと思えるまち
95	共に創る わたしたちのまち
96	ひとのあたたかさ、暮らしを楽しむ
97	全世代が住んでよかったと思えるまち
98	住んで便利なまち
99	近隣市町村より魅力のあるまち
100	市民が将来に希望をもって暮らせるまち

各分野の意見を総合すると、下記のとおりとなりました（AI による集約）

- 【1.安心・安全・防災】災害に強く、将来にわたって誰もが安心して暮らせるまち
- 【2.活気・産業・経済】雇用が確保され、市内外の人で賑わい、活気にあふれるまち
- 【3.若者・子育て・教育】子どもたちの笑顔があふれ、若者が住み続けたい・戻りたいと思えるまち
- 【4.歴史・文化・自然・魅力】相馬の豊かな自然や歴史、伝統を誇りとし、次世代へつなぐまち
- 【5.持続可能性・行政運営】健全な財政と身の丈に合った運営により、自治体として存続し続けるまち
- 【6.市民生活・幸福・共生】市民が誇りを持ち、笑顔で、互いに尊重し合いながら穏やかに暮らせるまち

また、全体の傾向を分析すると、以下の傾向が読み取れます（AI による分析）

●「次世代への継承」が最大の関心事

「子どもが戻ってきたい」「若者が住みよい」といった、若い世代に選ばれるまちであることを切望する声が非常に多く見られます。

●「存続」そのものへの危機感

単なる発展ではなく、「相馬市が相馬市であり続ける」「100 年後も存続する」といった、自治体の持続可能性を将来像として挙げる職員が複数存在します。

●「笑顔」と「安心」の追求

「市民が笑顔で」「穏やかに」「不自由なく」といった、市民の主観的な幸福度や生活の質（QOL）を重視する視点も目立ちます。

●「「選ばれるまち」への転換（若者・子育て・教育）」

最も多く見られたのは、「自分の子供が大人になった時に戻ってきたいと思える市」や「若者が住みよい街」といった願いです。進学等で一度は市を離れることを前提としつつ、「帰る場所としての魅力」を維持・創出することを理想としています。

●「「相馬市」というアイデンティティの維持（持続可能性・行政運営）」

「相馬市が相馬市であり続ける」「100 年後も自治体として存続」など、人口減少や財政難という現実を直視し、自治体の存続そのものを最大のミッションと捉える職員像が浮き彫りになっています。

●「「幸福」と「笑顔」の追求（市民生活・幸福・共生）」

「市民が笑顔で暮らせる」という表現が非常に多く、ハード面の整備だけでなく、「心豊かに安心して暮らせる」ソフト面の充実が理想の姿として共有されています。

●「資源の最大活用（歴史・文化・自然・魅力）」

「自然豊か、歴史が根付く」といった、相馬独自の強みを誇りに思い、それを活かしたまちづくりを望んでいます。

●「新マスタープランへの示唆」

これらの意見を統合すると、新しいマスタープランのキーワードは「誇り・安心・持続性」に集約されと考えられます。

◆設問 7 の回答結果まとめ

■設問 7. 【任意】

新マスタープラン策定に関して、ご意見がございましたらご記入ください。

- ・新マスタープラン策定に関しての意見を伺う設問。
- ・全体で 18 件の自由意見があった。

回答（全件）

No	新マスタープラン策定に関する意見
1.計画の基本姿勢・現実性 に関する回答（6 件）	
1	実効性のある計画にしてほしいと思います。
2	理想を高くしない計画を期待します。
3	現実を見据えた責任ある計画を、市民と一緒に実現していきたい。
4	職員が納得してめざせるプランの策定
5	相馬市の核となる、相馬の未来を作る大切な計画です。 現実を見据えたうえで、明るい将来が見える計画を策定してください。 一職員として協力できるところはさせていただきます。
6	市の実情を踏まえ、過度な期待や希望を抱かせるようなものではなく、地に足が着いた計画にしてほしい。計画策定にあたっては、足元をしっかりと見据えた上で、今後 10 年間相馬市はどのようなまちづくりをしていくのか、どう発展させていくのかを多くの方々が議論できる場となってほしい。
2.重点化・選択と集中 に関する回答（3 件）	
7	子育てや働き手である若い世代に焦点を当てて策定してほしい
8	分野をまんべんなく取り組むことも大切だが、とくに力を入れたいことを明確にしてほしい。これまでの相馬市は、何を重点に施策を展開しているのか見えなかった。子育てなのか、観光なのか、企業誘致なのか、移住定住なのか、相馬市が今後 10 年間にとくに重点を置きたいテーマ・分野を定めてほしい。そうすることで、市民にこれからの相馬市の進む方向を示すことができ、予算のかけかたを変えることで、それに対して市役所も市民も力を合わせていくことができると思う。 マスタープランの作成の際は、市が今後 10 年間に力を入れたいテーマ、項目、施策の順に記載するのがいいと思う。今のマスタープランを初めて見たとき、市民協働に関する計画から始まっていて、これが第 1 章なの？これが市が力を入れたいことなの？と感じた。
9	いろいろな意見もあると思います。その中で「項目」ばかりが増えていくプランではなく、マスタープラン 2017 から、取り組みによって達成された項目や「これは必要だろうか」と感じる項目については項目から削除され、さらに優先順位がわかりやすくなるといいな、と思います。
3.財政健全化・事業再編 に関する回答（2 件）	
10	財政が健全であれば、必要最低限の市民サービスだけでなく、子育て、道路整備、観光業などにも予算を回すことができる。それにより市民の満足度が向上する。健全な財政運営を柱に新マスタープランを策定してほしい。

11	マスタープラン（基本構想、基本計画、財政計画、重点施策行動計画）からなり、マスタープランは10年間で計画期間として成り立っているとするならば、その10年間は1年毎の重点施策行動計画や業務目を中心に標からあるべき姿へ向かっているのではないかと考える。やっていかなければならない事業は増えていく、マスタープランにもあげ実行していくしかしながら、どんな事業にも事業費が必要となる。今後、ますます、費用が膨らむ可能性がある、財政計画の精度を上げスクラップする事業や公共施設を検討してはいかななくてはならない可能性が高くなる。そういったこともプランに盛り込む必要があるので検討する必要があるのではないかと思います。
4.市民協働・エンゲージメント に関する回答（2件）	
12	基礎自治体として相馬市の視点で作成してもよいが、住民目線で策定してはいかがでしょうか。
13	なんでも市でやるようなプランにしないでいただきたい。 市民や企業・団体との共同を積極的に行うような形を目指していけるといいと思います。
5.策定手法・表現の工夫 に関する回答（5件）	
14	抽象的な表現が多すぎると見なくなってしまう。 市民の人にこれからの相馬市はこれを目指します！っていう意思表示なのでパワーワードではないですが、心に響くものはほしい。 ただの硬い文章が多めではなく、多少の遊びがあってもよい。
15	計画期間について、10年間でなくても差し支えないのであれば、市長任期にあわせて8年、12年（いずれも4の倍数）といった数字にしたほうが、他の長期計画との紐づけを考慮しても都合がよいのではないかと。
16	上っ面だけなら作らなくていいです。将来像に向けて、なにをいつまでに行うかを記載してください。 市民の誰がみても、相馬市が今後取り組んでいくことをわかりやすく、端的に記載してください。
17	前マスタープランの徹底検証
18	本アンケートのように匿名で市全体への意見を書けるのは言いやすくて良かった 同じアンケート形式にすれば意見が多く上がると思った

各分野の意見を総合すると、下記のとおりとなりました（AIによる集約）

- 【1.計画の基本姿勢・現実性】「地に足の着いた計画」「現実を見据えた責任ある計画」など
- 【2.重点化・選択と集中】「重点分野の明確化」「優先順位の提示」など
- 【3.財政健全化・事業再編】「スクラップ＆ビルドの明記」「財政計画との連動」など
- 【4.市民協働・エンゲージメント】「市民・企業との共同」「住民目線の策定」「議論の場の創出」など
- 【5.策定手法・表現の工夫】「わかりやすく端的な記載」「心に響くパワーワード」「前計画の検証」など

また、全体の傾向を分析すると、以下の傾向が読み取れます（AIによる分析）

●「総花的な計画」への決別

すべての分野を平均的に扱うのではなく、何を捨て、何に集中するのかを明確にすべきという強い意見が目立ちます

●「市民に伝わる言葉」の重視

役所特有の硬い文章ではなく、市民が自分事として捉えられる「パワーワード」や「わかりやすさ」を求める声があります

●「財政的裏付け」への懸念

人口減少に伴う財政難を背景に、単なる理想論ではなくスクラップ＆ビルドを伴う実効性を重視する姿勢が見て取れます